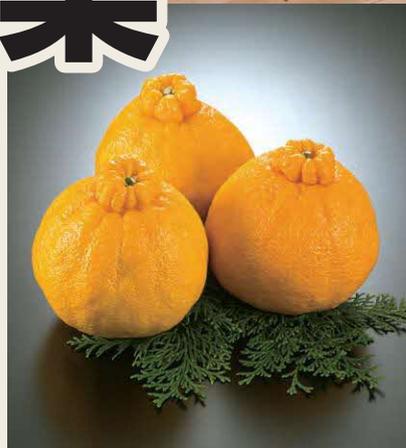




# くまもとの 農林畜水産業

2025



食のみかに熊本県

# くまもとの農林畜水産物

熊本県では、天草などの海から阿蘇などの標高の高い山間地域まで変化に富んだ地形や気候を活かしてたくさんの農林畜水産物が生産されています。



# 目次



## イラストの凡例

米	不知火類 (デコポン)	葉たばこ
トマト	河内晩柑	肉用牛
ミニトマト	バンパイヤ	乳用牛
なす	なし	豚
すいか	くり	天草大王
メロン	トルコギキョウ	しいたけ
きゅうり	宿根カスミンソウ	たけのこ
いちご	キク	あさり
キャベツ	ガーベラ	たちうお
レタス	クジャクアスター	このしろ
たまねぎ	アスター	のり(養殖)
アスパラガス	ストック	まだい(養殖)
しょうが	キンギョソウ	くるまえば(養殖)
にんじん	カラー	ぶく類(養殖)
だいこん	洋ラン	しまあじ(養殖)
れんこん	いぐさ	まあじ(養殖)
ごぼう	茶	しんじゆ(養殖)
サツマイモ	茶	スギ
温州みかん	茶	ヒノキ
甘夏みかん	茶	

## 第1章

### 令和6年(2024年)の主な取組み

1

- 1 くまもとと農林畜水産業の1年……………1
- 2 トピックス……………2

## 第2章

### 本県農林畜水産業の姿

7

- 1 本県の概要……………7
- 2 概要……………8
- 3 生産……………15
- 4 担い手……………21
- 5 流通……………25
- 6 農畜産物出荷カレンダー……………26

## 第3章

### 農林・林業・水産業に係る各基本計画の概要

27

## 第4章

### 研究機関の取組み

29

- 1 各研究機関の概要……………29
- 2 品種の開発・選定……………30

## 第5章

### 農林水産部組織図

31

## くまもとの農林畜水産業2025

令和7年(2025年)6月発行

編集発行／熊本県

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

農林水産部 農林水産政策課

TEL 096-333-2364 / FAX 096-383-3270

HP <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/71/>

# 第1章 令和6年（2024年）の主な取り組み

## 1 くまもと農林畜水産業の1年

1  
〜  
3  
月

- 経済の安全保障と食料の安全保障の両立を目的とした、半導体関連企業の進出に伴う営農継続支援
- 令和6年能登半島地震の復旧・復興に向けた農林水産部職員の派遣
- 人吉・球磨地域における田んぼダムの取組面積が目標を達成！
- やまえ栗が地理的表示（GI）保護制度へ登録！本県のGI登録産品数が日本一！
- 中国産梨花粉輸入停止による県産花粉の緊急調達

4  
〜  
6  
月

- ノリ養殖の生産額が過去最高の183億円
- 後継者不足解消へ優れた生産手法のノウハウを集めたすいかのマニュアル作成
- 有害赤潮により4年連続となる漁業被害が発生
- 大雨による遥拝頭首工の被災への対応

7  
〜  
9  
月

- 「“ひかり輝く”新たな五木村振興計画」の実現に向け、五木村と連携した豊富な森林資源をフル活用した森林・林業施策を開始
- 高温による農畜産物への影響（収量・品質・病害虫）と県の対応（品種改良・栽培指導など）
- 熊本県国土調査70周年記念講演会を開催
- 令和5年度（2023年度）熊本県産農林畜水産物等の輸出実績が122億円となり、目標の110億円を突破！
- 学校給食における県産食材の活用推進に係る連携協定を締結
- 全国乾椎茸品評会で県内若手生産者2名が本県では38年ぶりとなる林野庁長官賞を受賞

10  
〜  
12  
月

- くまもと新時代の実現に向けて、「食のみやこ推進局」、「担い手支援課」、「農地農振室」を新設
- 令和5年の生産農業所得が全国2位！

## 2 トピックス

### (1) くまもと新時代の実現に向けて、「食のみやこ推進局」、「担い手支援課」、「農地農振室」を新設

- 県産農林畜水産物の高付加価値化と販路拡大等の推進による「食のみやこ熊本県」の創造に向けて、県政初となる農林水産部と商工労働部の共管局「食のみやこ推進局」を設置しました。
- 「食のみやこ熊本県」を創造していくにあたっての道標とするビジョン策定に向け、令和7年（2025年）2月17日第1回の有識者会議を開催し、熊本の食の強みや課題、取組みの方向性について意見をいただきました。
- 親元就農をはじめとした担い手の確保・育成の強化や農業振興と企業進出の両立を、重点的に推進するため、「担い手支援課」と「農地農振室」を設置しました。
- 担い手支援課では、親元就農に対する支援の強化を中心に就農支援策の検討を進めています。
- 中学生向けのバスツアーの強化による若年層への魅力発信や、「おせっかい先輩農家」制度による相談体制の強化、学びの場として親元就農者向け中期研修の新設や4Hクラブ等の若手農業者のネットワークの強化などに新たに取り組んでいきます。



第1回有識者会議の様子



中学生向けバスツアーの様子

### (2) 全国乾椎茸品評会で若手生産者2名が熊本県では38年ぶりとなる林野庁長官賞を受賞

- 全国第3位の生産量を誇る本県の原木乾しいたけでは、生産者の減少や異常気象による生産量の減少が進む中、令和5年度（2023年度）から全国に先駆けて原木乾しいたけ生産等に係るDX化の実証を行っています。
- 令和6年（2024年）8月、東京都において「第71回全国乾椎茸品評会表彰式」が開催され、本県からは石原敬氏と田中欣生氏の2名（菊池市）が林野庁長官賞を同時に受賞されました。
- 本県の生産者が同賞を受賞したのは昭和61年（1986年）第34回大会以来38年ぶり、さらに2名同時受賞という歴史的快挙が成し遂げられました。本県の若手生産者として益々の活躍が期待されます。



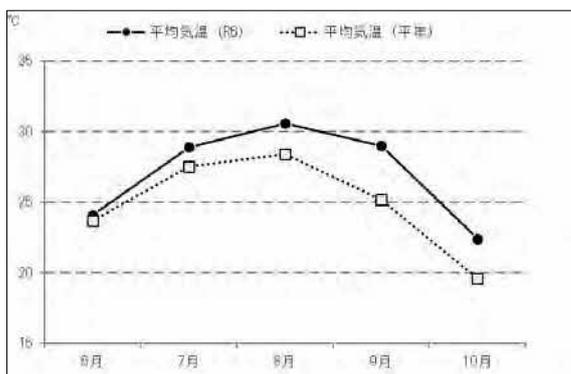
DX実証事業で原木しいたけ生産現場に設置している環境センサー



受賞されたしいたけ生産者  
左：石原敬氏 右：田中欣生氏

### (3) 高温による農畜産物への影響（収量・品質・病害虫）と県の対応（品種改良・栽培指導など）

- 近年、地球温暖化に伴う異常気象が頻発しており、本県でも令和6年（2024年）7月から10月は記録的な高温となりました。
- 農畜産業においても、トマトの着果不良、いちごの花芽分化の遅れ、かんきつの日焼け果や稲の登熟不良による収量・品質の低下、家畜の受胎率の低下等がみられたため、農業団体と県を中心にプロジェクトチームを作り、各品目毎に収量や品質の向上につながる短期的対策と品種改良等の中長期的対策及び支援制度等を取りまとめました。
- 令和7年（2025年）の夏期に向け、生産現場で万全の対策が実施されるよう技術の普及とともに、対策のバージョンアップも図っていく予定です。



令和6年（2024年）と平均の平均気温の比較（6～10月）

**農畜産業の高温適応対策**

2024年（令和6年）の記録的な高温を受け、県や農業団体等が連携して、部門ごとに高温対策プロジェクトチームを立ち上げ、農畜産業における現在の高温対策技術ならびに支援制度を整理しました。なお、効果を確認された技術や人材等の情報は、随時追加・更新することとしています。

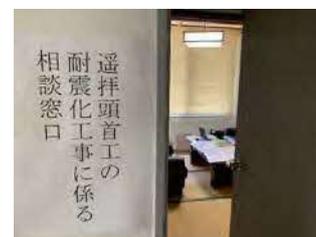
令和7（2025年）年5月  
 熊本県 農林水産部 生産課監局

- 熊本県主要農作物改良協議会 高温化対策緊急プロジェクトチーム
- 熊本県野菜果樹対策協議会 高温化対策緊急プロジェクトチーム
- 熊本県果樹生産振興対策本部 高温化対策緊急プロジェクトチーム
- 熊本県畜産 高温化対策緊急プロジェクトチーム

対策技術を取りまとめて公表

### (4) 大雨による遙拝頭首工の被災への対応

- 令和6年（2024年）3月、国営事業で改修している八代市の球磨川にある遙拝頭首工が大雨により被災しました。
- 遙拝頭首工は、八代地域の農地を潤す農業用水に加え、上天草・宇城地域の飲み水も供給する重要な施設であり、用水が供給できない事態となれば、農業・農村への影響は甚大なものとなります。
- 農業シーズンを控える中、国や県、市、土地改良区等関係者が連携し、全国から仮設ポンプを集め取水したり、別水系河川から取水できるよう調整したりと、懸命に用水確保を図るとともに、関係農家は、日割り送水による節水に取り組まれました。



相談窓口の設置

- さらに、国と県が協力して相談窓口を設置し、農業者からの用水不足等に関する相談を受け、不安の解消に努めました。
- これらの対応により、営農や生活への影響は最小限に留め、実りの秋を迎えることができました。



河川からの緊急取水

## (5) 有害赤潮により4年連続となる漁業被害が発生

- 八代海では、令和6年（2024年）5月から8月にかけて、シャットネラ属、ヘテロシグマ、コクロディニウム、カレニアの4種類の有害赤潮が発生しました。
- 有害赤潮による被害を防止・軽減するため、県では、餌止めを指導するとともに、養殖業者が取り組む赤潮監視連絡体制の強化や赤潮駆除剤の散布を支援しました。
- 養殖業者等は、被害防止・軽減に取り組みましたが、ブリやカンパチ、シマアジなど多くの養殖魚がへい死し、令和3年（2021年）から4年連続で漁業被害が発生し、その被害合計額は14.8億円となりました。



赤潮の発生状況



養殖業者による有害赤潮の監視

## (6) 経済の安全保障と食料の安全保障の両立を目的とした、半導体関連企業の進出に伴う営農継続に関する支援

- 半導体関連企業等の進出に伴い、売買による農地の減少が進んでいる中、営農を継続したい農家に対する農地確保の取組みを支援しています。令和6年度（2024年度）にはニーズ調査により農家の意向を把握したうえで周辺市町村も対象に含めた農地のマッチング支援に取り組み、令和7年（2025年）3月末までに約56haの代替農地を確保しました。
- また、短期間での農地確保のため、林地を含む基盤整備など初の試みとしてモデル的に県が事業主体となり旧大津牧場跡地を活用した代替農地の整備を行っています。
- 今後も引き続き県・市町村連絡会議等を通じ、土地利用の調整や開発の集約・誘導に向け関係機関が連携して取組みを進めています。
- また、半導体関連企業が集積する県北地域は、畜産の盛んな地域であるため、畜産農家を対象に、半導体関連企業等の進出による影響や今後の営農計画等について実態意向調査を実施しました。
- この調査結果に基づき、地元自治体や農業団体、畜産農家等と地域の課題等について協議を重ねており、今後の対策や方向性を整理した構想の策定を行っていきます。



県モデル事業：林地を含む基盤整備



畜産関係者との意見交換

## (7) 人吉・球磨地域における田んぼダムの取組面積が目標面積を達成

- 田んぼダムの取組面積が令和5年度（2023年度）までに617haとなり、目標面積であった540haを達成しました。
- 令和6年度（2024年度）には人吉・球磨地域において田んぼダムの取組面積が652ha（県内全域で679ha）まで拡大しました。
- 今後も田んぼダムの普及拡大を目指し、全県的な情報発信やPR活動を行っていきます。また、地域を主体とした持続可能な取組みとなるよう、市町村や地元関係者による推進母体の設立を目指します。



田んぼダム取組範囲



田んぼダム研修会

## (8) 「“ひかり輝く”新たな五木村振興計画」の実現に向け、五木村と連携した豊富な森林資源をフル活用した森林・林業施策を開始

- 「“ひかり輝く”新たな五木村振興計画」の実現に向け、五木村や村内林業関係者等と連携を図りながら、村の「宝」である豊富な森林資源をフル活用した新たな施策を令和6年度（2024年度）から開始しています。
- 県有林を活用し、花粉の少ないスギ苗木等の成長量や低コスト造林技術の実証調査、並びに先進的な架線集材技術の普及に向けた研修会を実施しました。
- また、五木村全域をフィールドに、自然条件・社会条件が不利な人工林を保全林推進エリアとして設定するための基準や、針広混交林等の保全林へ誘導するための森づくり指針等を策定しました。
- さらに、くまもと林業大学の機能拡充について、外部有識者からなる「くまもと林業大学の機能拡充に向けたあり方検討委員会」を設置し、『“選ばれる”林業大学校』に向けた検討を実施しました。



先進的な架線集材研修会の開催



林大のあり方検討会の開催

## (9) 後継者不足解消へ優れた生産手法のノウハウを集めたすいかのマニュアル作成

- 本県は生産量全国一のすいか産地ですが、担い手の減少や高齢化などにより、栽培面積は減少傾向にあります。また、すいか栽培は経験や勘に基づいて行われているケースが多く、担い手への技術継承が課題となっていました。
- そこで、令和3年度（2021年度）から国の事業（データ駆動型農業の実践・展開支援事業）を活用し、県内のすいか産地の協力を得て、栽培管理マニュアルを作成しました。
- マニュアルでは、高収量農業者の栽培管理作業を動画も活用しながら紹介するとともに、ハウス内の温度データや栽培管理ポイントを「見える化」し、わかりやすくまとめました。
- 今後は、当マニュアルを活用し、担い手への技術継承を進めていきます。



大玉すいか栽培管理マニュアル

## (10) 令和6年能登半島地震の復旧・復興に向けた農林水産部職員の派遣

- 熊本地震等の大規模災害の経験を踏まえ、被災農林漁業者等への対応や今後必要となる業務等をお伝えすべく、石川県への熊本地震の記録集の送付や熊本県庁に来庁された石川県農林水産部職員に対する復旧・復興に向けた対応手法や支援策の内容説明を行いました。
- また、石川県からの依頼を受け、令和5年度（2023年度）から継続的に農林水産部の職員を派遣し、被害状況調査や設計業務等の支援を行っています。



被害状況調査

## (11) 熊本県国土調査70周年記念講演会を開催

- 本県の地籍調査は、昭和30年度に山鹿市から始まり、令和6年度（2024年度）で70年目を迎えました。
- この節目の年の記念行事として、地籍調査の意義を分かりやすく広く県民の皆様等にお伝えするため7月19日にホテル熊本テルサで記念講演会を開催しました。
- 地籍界において高名な講師である国土交通省登録地籍アドバイザーの矢萩智裕氏らの記念講演やパネルディスカッションを実施しました。
- 県内外から232名が来場し、オンライン聴講に全国31都道府県市区町村から216名が参加するなど、珠玉の講演会となりました。



記念講演会ポスター



記念講演会の様子

## 第2章 本県農林畜水産業の姿

### 1 本県の概要

- 本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれています。また、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川、球磨川などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれています。
- 三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、平均気温（平年値）は熊本市で17°C前後、阿蘇地方で13°C前後となっています。
- 年間降水量（平年値）は、平地で約2,000mm、山地で約3,000mmとなっています。
- このような豊かな自然の恵みを背景に、多様な農林畜水産物が生産されています。

#### 【主要指標】

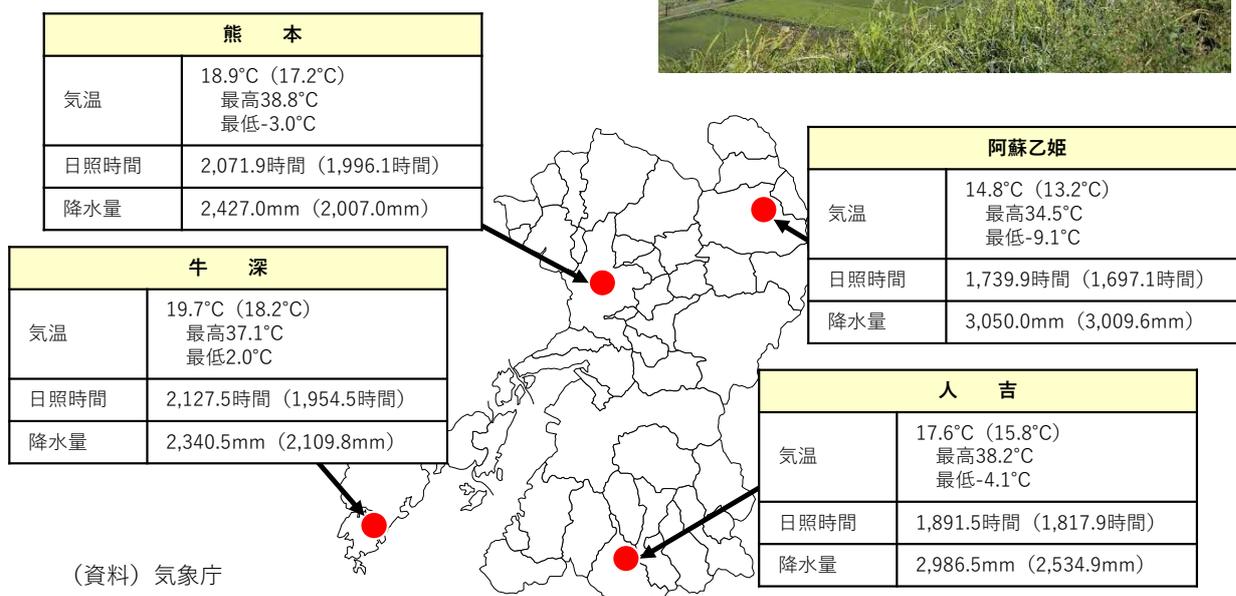
面積	7,409km <sup>2</sup>	令和6年全国都道府県市区町村別面積調
総人口	169万7千人 (男 80万6千人、女 89万1千人)	令和6年10月1日人口推計
総世帯数	71万9千世帯	令和2年国勢調査人口等基本集計
県内総生産	6兆5,651億円 (うち農林水産業 1,859億円)	令和4年度県民経済計算報告書

#### 【市町村】

14市23町8村（45市町村）



#### 【気象（令和6年）】（カッコ内は平年値）



## 2 概要

- 農業生産の主要な担い手である認定農業者数は全国第3位、基幹的農業従事者数は全国第5位です。
- 令和5年（2023年）の農業産出額は全国第5位、生産農業所得は全国第2位です。
- 全国第1位が7品目(トマト、すいか、カリフラワー、不知火類(デコポン)、宿根カスミソウ、葉たばこ、いぐさ)あり、その他にも、なす、メロン、しょうが、アスパラガス、くり、トルコギキョウなど全国的にも上位を占める品目が数多くあります。

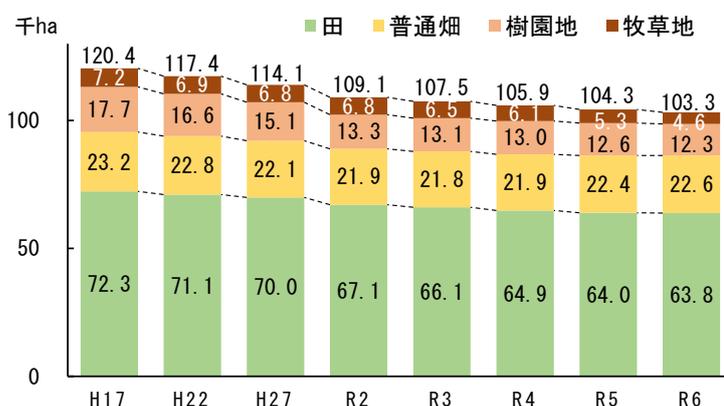
### 【全国に占めるくまもと農業の地位】

区 分	単 位	全 国	九 州	熊 本 県	熊本県の全国に占める		
					順位	割合(%)	
農 業 経 営 体 数 (R6年)	千経営体	842.3	129.7	27.6	7	3.3%	
認 定 農 業 者 数 (R6.3月末)	千人	216.8	42.8	9.9	3	4.6%	
基 幹 的 農 業 従 事 者 数 (R6年)	千人	1,114.0	186.0	41.3	5	3.7%	
耕 地 面 積 (R6年)	千ha	4,272.0	502.4	103.3	14	2.4%	
田 面 積 (R6年)	千ha	2,319.0	293.9	63.8	13	2.8%	
畑 面 積 (R6年)	千ha	1,952.0	208.5	39.5	9	2.0%	
樹 園 地 (R6年)	千ha	248.6	48.3	12.3	6	4.9%	
牧 草 地 (R6年)	千ha	585.9	11.8	4.6	6	0.8%	
農 業 産 出 額 (R5年)	億円	95,579	19,226	3,757	5	3.9%	
生 産 農 業 所 得 (R5年)	億円	33,421	6,952	1,554	2	4.6%	
主 要 農 産 物 の 収 穫 量	ト マ ト (R5年)	千t	681.4	195.3	132.6	1	19.5%
	す い か (R5年)	千t	303.7	…	46.5	1	15.3%
	カ リ フ ラ ワ ー (R5年)	千t	22.1	…	2.9	1	12.9%
	な す (R5年)	千t	288.8	…	36.3	2	12.6%
	メ ロ ン (R5年)	千t	145.2	…	24.1	2	16.6%
	し ょ う が (R5年)	千t	45.6	…	4.9	2	10.7%
	ア ス パ ラ ガ ス (R5年)	千t	24.6	…	2.3	2	9.2%
	い ち ご (R5年)	千t	161.8	…	11.7	3	7.2%
	不 知 火 類 (デ コ ポ ン) (R4年)	千t	41.9	…	16.2	1	38.6%
	く り (R5年)	千t	15.0	…	1.8	2	12.1%
	な つ み か ん (R4年)	千t	27.1	…	4.7	3	17.2%
	う ん し ゅ う み か ん (R5年)	千t	681.6	…	80.6	4	11.8%
	水 稻 (R6年)	千t	7,345.0	703.0	153.3	15	2.1%
	か ん し ょ (R5年)	千t	715.8	319.3	18.4	6	2.6%
	宿 根 カ ス ミ ソ ウ (R5年)	千本	47,200	…	18,600	1	対主産県比 39.4
	ト ル コ ギ キ ョ ウ (R5年)	千本	84,300	…	10,300	2	対主産県比 12.2
	葉 た ば こ (販 売 量) (R5年)	千t	8.7	…	2.0	1	22.6%
	い ぐ さ (R6年)	千t	5.0	…	5.0	1	対主産県比 100.0

(資料) 農林水産省「2020年農林業センサス」、「作物統計」、「生産農業所得統計」他  
 ※主要農畜作物の収穫量の欄の「…」は、主要産地県のみ調査されている作物。順位は主産地県中の順位。

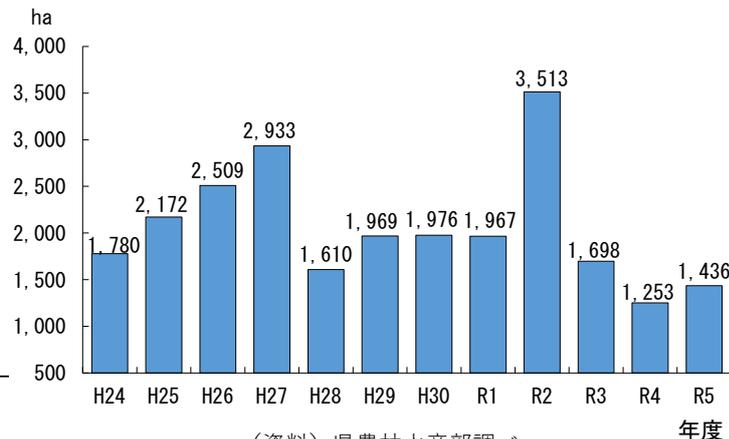
- 耕地面積は、建物施設用地等への転用が進んでいることなどにより、緩やかな減少傾向が続いています。
- 平成24年度（2012年度）から担い手への農地集積に向けて、年間2,100haの農地集積を目標とした取組みを開始しました。
- 地域での話し合いの結果、平成24年度（2012年度）から令和5年度（2023年度）の12か年で24,816haの集積が図られました。

### 【耕地面積の推移】



(資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

### 【農地集積の状況】



(資料) 県農林水産部調べ

## 高収益作物導入推進の取組み

### 基盤整備を契機としたブロッコリーの導入

甲冑口地区（熊本市）は、現況 0.1～0.2haであった農地を区画整理によって2ha以上に大区画化し生産性が向上しました。

さらに、地域内に集落営農組織を設立し、組織に農地を集積・集約することで持続可能な生産体制を構築しました。<受益面積：83.2ha 事業期間：平成25年度～令和8年度>

事業前



事業後



### 事業効果

区画拡大により労働時間や営農経費が半減。高収益作物導入が実現。



ブロッコリーの収穫状況

## (2) 畜産

- 令和6年(2024年)の家畜の飼養状況について、乳用牛では飼養戸数457戸、飼養頭数43,000頭、肉用牛では飼養戸数2,020戸、飼養頭数134,000頭となっています。
- また、豚については飼養戸数126戸、飼養頭数347,900頭、採卵鶏については飼養戸数38戸、飼養羽数2,481,000羽、ブロイラーについては飼養戸数56戸、飼養羽数3,746,000羽となっています。

### 【全国に占めるくまもと畜産の地位】

区分	単位	全国	九州	熊本県	熊本県の全国に占める	
					順位	割合(%)
乳用牛						
戸数	戸	11,900	1,180	457	4	3.84
頭数	頭	1,313,000	97,800	43,000	3	3.27
肉用牛						
戸数	戸	36,500	16,000	2,020	7	5.53
頭数	頭	2,672,000	978,200	134,000	4	5.01
豚						
戸数	戸	3,130	945	126	9	4.03
頭数	頭	8,798,000	2,753,000	347,900	8	3.95
採卵鶏						
戸数	戸	1,700	337	38	20	2.24
頭数	千羽	170,776	21,842	2,481	23	1.45
肉用鶏						
戸数	戸	2,050	1,080	56	7	2.73
頭数	千羽	144,859	74,080	3,746	8	2.59

(資料) 農林水産省「畜産統計」

## 木村知事「くまもと黒毛和牛」トップセールス

首都圏でのくまもと黒毛和牛の更なる認知度向上及び販路拡大に向け、東京都中央卸売市場関係者及びバイヤーを対象に、木村知事による初のトップセールスを開催しました。

トップセールスに併せて開催したくまもと黒毛和牛枝肉研究会では、県内から48頭の出品があり、最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞3点が選出されました。



木村知事によるトップセールス



枝肉研究会表彰式の様子

### (3) 林業

- 令和5年（2023年）の林業産出額は164億円で全国7位となっており、このうち木材産出額は144億円で全国4位となっています。
- 令和5年（2023年）の素材生産量は922千<sup>3</sup>mで全国7位となっているほか、乾しいたけ生産量は186トンで全国3位となっています。

#### 【全国に占めるくまもと林業の地位】

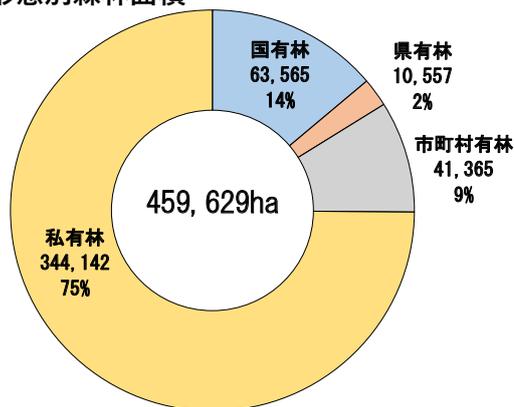
項目	単位	全国	九州・沖縄	熊本	全国における順位	九州における順位
<b>森林資源（※1）</b>						
林野率	%	67	62	62	32	4
林野面積	千ha	25,025	2,770	459	18	3
民有林林野面積	千ha	17,321	2,227	396	18	4
人工林面積	千ha	10,093	1,435	279	9	2
人工林率	%	40	52	61	7	3
<b>林業生産（※2）</b>						
林業産出額	億円	4,751	985	164	7	3
うち木材産出額	億円	2,481	665	144	4	2
<b>造林（※3）</b>						
民有林造林面積	ha	20,521	5,567	1,001	5	4
スギ造林面積	ha	7,773	4,803	804	4	4
ヒノキ造林面積	ha	1,187	232	104	3	1
<b>伐採（※4）</b>						
素材生産量	千 <sup>3</sup> m	20,647	5,165	922	7	3
スギ素材生産量	千 <sup>3</sup> m	11,917	4,166	615	5	3
ヒノキ素材生産量	千 <sup>3</sup> m	3,180	859	280	1	1
<b>特用林産物（※5）</b>						
乾しいたけ生産量	トン	1,816	1,273	186	3	3
生しいたけ生産量	トン	63,374	8,739	451	30	6
たけのこ生産量	トン	16,528	11,165	1,578	4	3
木炭生産量	トン	14,762	1,766	425	X	X
竹材生産量	千束	898	753	132	2	2
<b>林道（※6）</b>						
民有林林道総延長距離	km	89,501	13,915	2,068	15	3
民有林林道密度	m/ha	5.2	6.2	5.2	25	6
<b>高性能機械導入数（※7）</b>						
導入数	台数	15,066	3,104	580	8	2
<b>木材産業（※4）</b>						
製材工場数	工場	3,749	623	127	7	1
出力数	kW	627,091	144,525	23,979	5	3
1工場平均出力数	〃	167	232	189	-	-
製材品出荷量	千 <sup>3</sup> m	7,546	1,855	420	5	2
<b>森林組合（※8）</b>						
森林組合数	組合	602	79	15	14	1
組合員数	人	1,455,237	276,297	35,115	18	4
1組合平均組合員数	人	2,417	3,497	2,341	-	-
<b>林業経営（※9）</b>						
林業経営体数	戸	34,001	6,058	1,255	7	3

- (資料) ※1 都道府県別森林率・人口林率（林野庁HP）  
 ※2 農林水産省「令和5年 林業産出額」  
 ※3 林野庁「森林・林業統計要覧2024」  
 ※4 農林水産統計「令和5年木材需給報告書」  
 ※5 特用林産基礎調査（令和5年）ただし、個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表していない  
 ※6 民有林森林整備施策のあらまし（令和7年2月）  
 ※7 林野庁林業機械保有状況調査（令和5年度版）  
 高性能機械導入台数は、フェラーバンチャー、ハーベスタ、プロセッサ、スキッダ、フォワードタワーヤード、スイングヤードフォーク型グラブパケット、その他高性能林業企画の8種類の合計  
 ※8 農林水産統計「令和5年森林組合一斉調査結果」  
 ※9 農林水産省統計部「2020年世界農林業センサス」

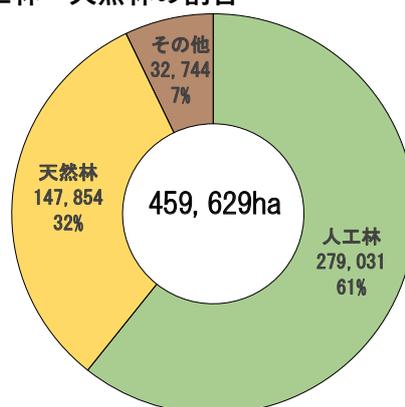
- 令和6年(2024年)4月現在の本県森林面積は、459,629haであり、県土全体の約6割を占めています。
- 所有形態別の構成比は、国有林14%、公有林(県+市町村)11%、私有林75%となっています。
- 林種区分別の構成比は、人工林61%、天然林32%、その他7%となっています。
- 保安林面積は、国有林58,152ha(34%)、民有林113,012ha(66%)となっています。機能別では、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林が全体の94%を占めています。
- 令和6年(2024年)4月現在で、スギ、ヒノキ人工林のうち、主伐が可能な森林面積(スギ41年生以上、ヒノキ46年生以上)は194,387haとなっており、全体の85%を占めています。

**【森林面積】**

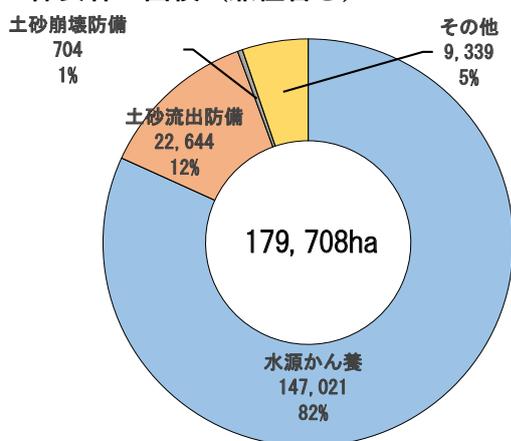
① 所有形態別森林面積



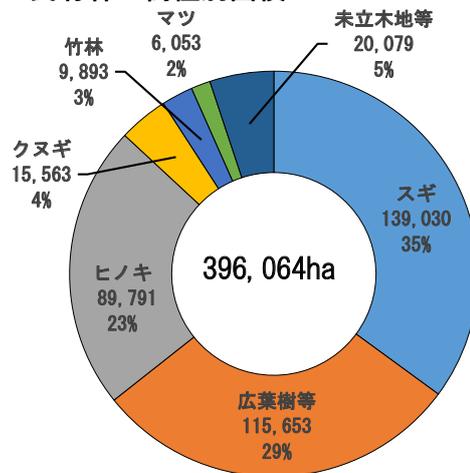
② 人工林・天然林の割合



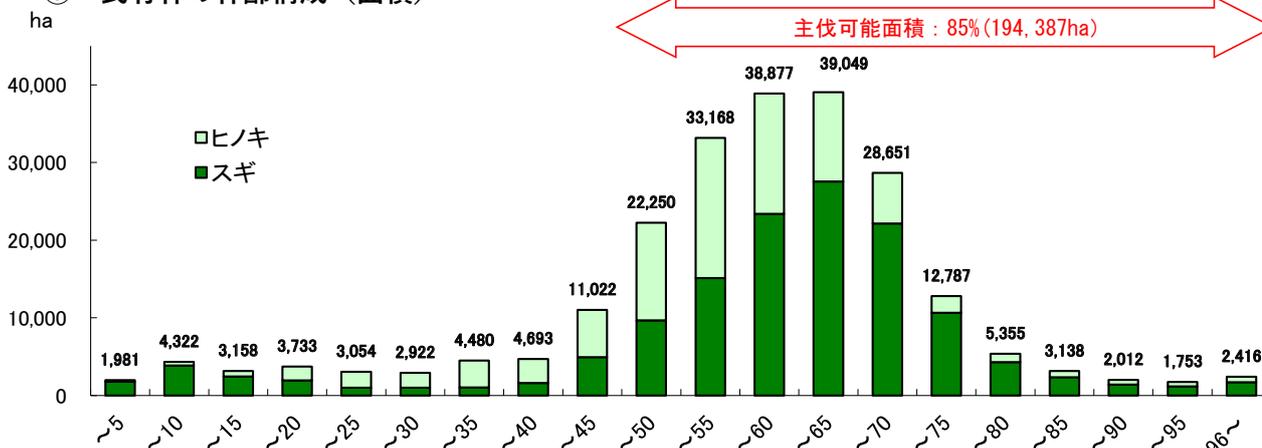
③ 保安林の面積 (兼種含む)



④ 民有林の樹種別面積



⑤ 民有林の林齢構成 (面積)



(資料) 熊本県民有林資源調査書

(注) 数字の単位未満は四捨五入しており、総数が一致しない場合がある。

林齢(年)

## (4) 水産業

- 令和5年（2023年）の海面養殖業の産出額は全国第5位です。
- 海面養殖業では、全国第2位のしまあじ、まだい、ふぐ類、全国第3位のくるまえび、のり類、全国第4位のまあじ、真珠など、全国的に上位を占める品目が数多くあります。
- また、海面漁業では、このしろ（全国第2位）、たちうお（全国第3位）、がざみ類（全国第5位）など、全国上位の品目もあります。

### 【全国に占めるくまもと水産業の地位】

項 目		単 位	全 国	九 州	熊 本	熊本県の全国に占める		
						順位	割合(%)	
漁業経営体数	(R5年)	経営体数	65,662	17,828	2,166	10	3.3	
漁業就業者数	(R5年)	人	121,389	29,534	4,121	9	3.4	
漁船隻数	(R5年)	隻	109,283	27,155	4,006	8	3.7	
海面漁業産出額	(R5年)	百万円	951,040	151,169	5,470	33	0.6	
海面養殖業産出額	(R5年)	百万円	573,064	234,259	38,115	5	6.7	
海面漁業漁獲量	(R5年)	t	2,926,411	478,346	12,378	32	0.4	
海面養殖業収穫量	(R5年)	t	851,509	111,716	47,864	7	5.6	
内水面漁業漁獲量	(R5年)	t	21,567	189	13	27	0.1	
内水面養殖業収穫量	(R5年)	t	30,341	12,282	342	12	1.1	
養殖 主な 収穫量	しまあじ	(R5年)	t	4,710	x	736	2	15.6
	ふぐ類	(R5年)	t	2,742	x	400	2	14.6
	まだい	(R5年)	t	67,257	x	9,386	2	14.0
	くるまえび	(R5年)	t	1,332	x	246	3	18.5
	のり類	(R5年)	t	201,011	x	32,180	3	16.0
	まあじ	(R5年)	t	532	x	28	4	5.3
	真珠	(R5年)	kg	12,298	x	557	4	4.5
漁業 主な 漁獲量	このしろ	(R5年)	t	4,099	596	364	2	8.9
	たちうお	(R5年)	t	5,420	1,830	465	3	8.6
	がざみ類	(R5年)	t	1,486	400	91	5	6.1
	あさり類	(R5年)	t	5,514	243	121	6	2.2
	まだい	(R5年)	t	14,706	4,866	337	14	2.3

※「-」は未公表  
 (資料) 農林水産省「漁業センサス」、「農林水産統計年報」

## 「熊本モデル」で流通した県産あさりの美味しさをPR

- 「海と日本プロジェクトinくまもと」（主催：一般社団法人くまもと海のミライ）が夏の学習イベントの一環として「ひごんアサリ調査隊」を開催しました。
- ここで県産あさりについて学んだ県内小学5・6年生が考案した「県産あさりメニュー」が県内のレストランで令和6年（2024年）10月から12月まで提供されました。
- 令和6年（2024年）11月14日には、知事と熊本県漁業協同組合連合会会長が来店し、県産あさりを用いたメニュー6品（あさじゃが、茶わん蒸し、アサリのチャーハン、だし巻き、パスタ、アサリうどん）を試食され、県のSNSやマスコミを通して県産あさりの美味しさをPRしました。



知事による試食会の様子



試食会のメニュー

## スマート水産業

- 本県では、ICT等の先端技術を活用し、水産資源の持続的利用と水産業の成長産業化を目指す「スマート水産業」を推進しています。
- 特に養殖業ではマダイ、シマアジを中心に自動給餌機が普及していますが、より効率的な餌やりや現場作業の軽減化のため、ICTを活用した自動給餌システム等の開発に取り組んできました。
- 令和6年（2024年）7月に、養殖業振興の最大の課題である赤潮対策に関する研究開発等について、3者（株式会社マイスティア、熊本高専、熊本県海水養殖漁業協同組合）で包括連携協定を締結しました。今後、AI技術を活用した赤潮増殖予察技術の開発を支援していく予定です。
- 引き続き、国の事業等を活用しながら、「スマート水産業」の社会実装に向けた取り組みを進めていきます。



ICTを活用した自動給餌システム



自動給餌中の生け簀



包括連携協定の締結

### 3 生産

#### (1) 農業

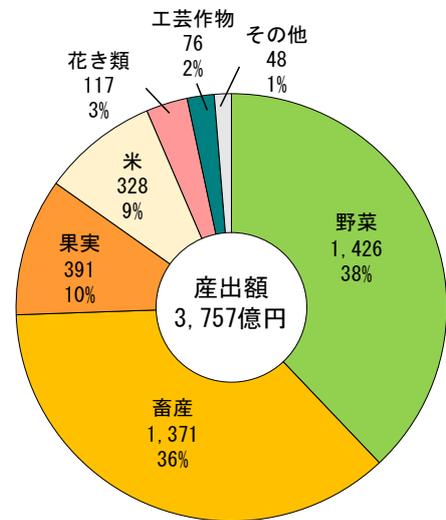
- 令和5年（2023年）の農業産出額は、肉用牛等が減少した一方で米や野菜、鶏卵等が増加したため、245億円増加（前年比107%）の3,757億円となっています。
- 主な内訳は、野菜1,426億円（構成比38%）、畜産1,371億円（36%）果実391億円（10%）、米328億円（9%）、花き117億円（3%）、工芸作物76億円（2%）等となっています。
- 令和5年（2023年）の生産農業所得は108億円増加（前年比108%）の1,554億円で、全国2位（前年同）、九州1位（前年同）となっています。

【農業産出額の全国順位推移】

順位	R3		R4		R5	
	単位	億円	単位	億円	単位	億円
1	北海道	13,108	北海道	12,919	北海道	13,478
2	鹿児島	4,997	鹿児島	5,114	鹿児島	5,438
3	茨城	4,263	茨城	4,409	茨城	4,571
4	宮崎	3,478	千葉	3,676	千葉	4,029
5	熊本	3,477	熊本	3,512	熊本	3,757
6	千葉	3,471	宮崎	3,505	宮崎	3,720
7	青森	3,277	青森	3,168	青森	3,466
8	愛知	2,922	愛知	3,114	愛知	3,207
9	栃木	2,693	栃木	2,718	岩手	2,975
10	岩手	2,651	長野	2,708	栃木	2,959
合計	全国	88,384	全国	90,015	全国	95,582

（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【農業産出額に占める品目別割合（R5）】



（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

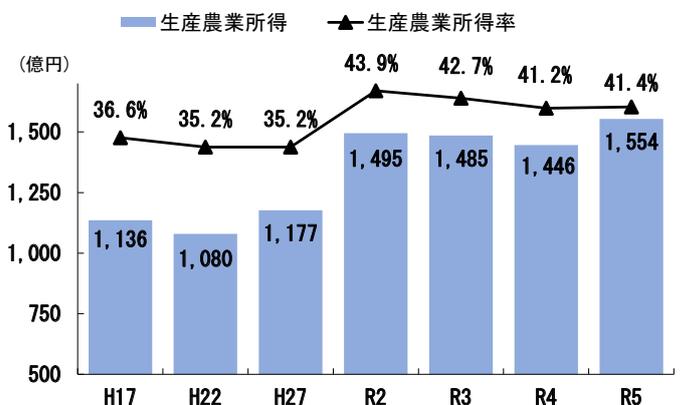
（注）野菜にはいも類を含む。

【生産農業所得の全国順位推移】

順位	R3		R4		R5	
	単位	億円	単位	億円	単位	億円
1	北海道	4,919	北海道	4,742	北海道	5,167
2	鹿児島	1,712	茨城	1,517	熊本	1,554
3	茨城	1,566	鹿児島	1,493	茨城	1,539
4	熊本	1,485	熊本	1,446	鹿児島	1,534
5	宮崎	1,317	千葉	1,220	千葉	1,262
6	青森	1,294	宮崎	1,194	青森	1,226
7	千葉	1,257	愛知	1,173	宮崎	1,219
8	愛知	1,201	青森	1,148	愛知	1,157
9	栃木	1,128	栃木	1,059	長野	1,093
10	長野	1,009	長野	998	栃木	1,086
合計	全国	33,479	全国	31,051	全国	33,422

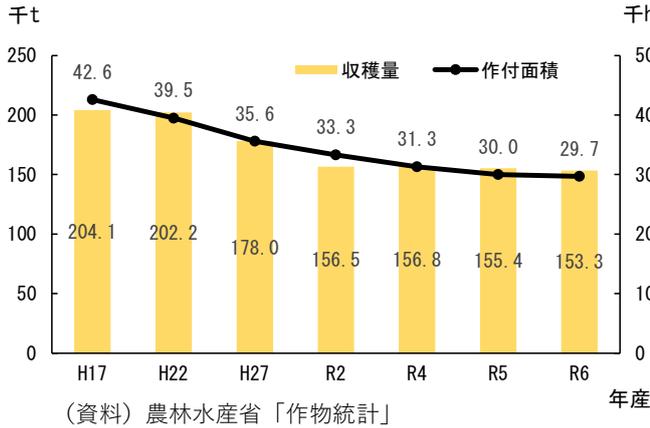
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【生産農業所得の推移】



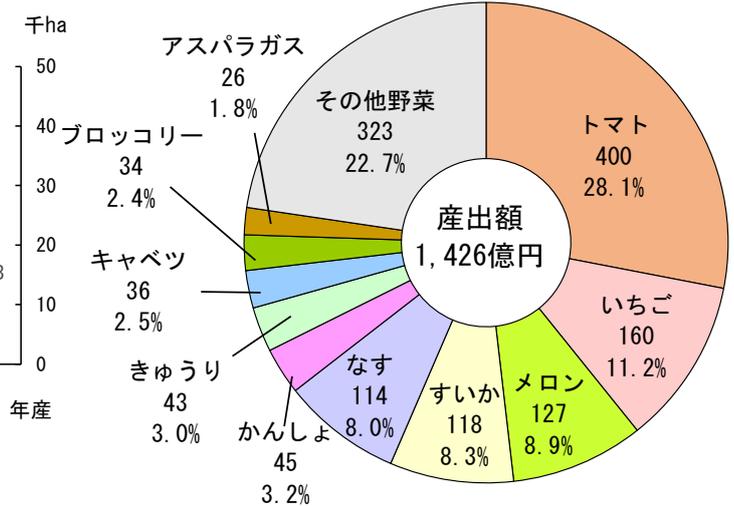
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

### 【主食用米の生産状況（R5）】



(資料) 農林水産省「作物統計」

### 【野菜の生産状況（R5）】

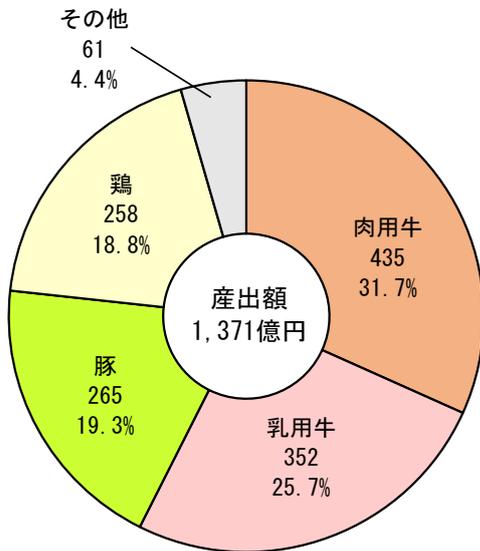


(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 産出額は野菜とも類の計。

数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)

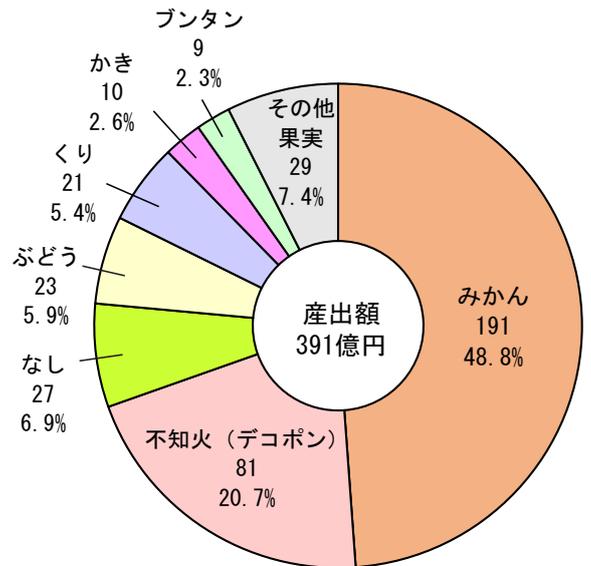
### 【畜産の生産状況（R5）】



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 数値は畜種ごとの産出額 (単位: 億円)

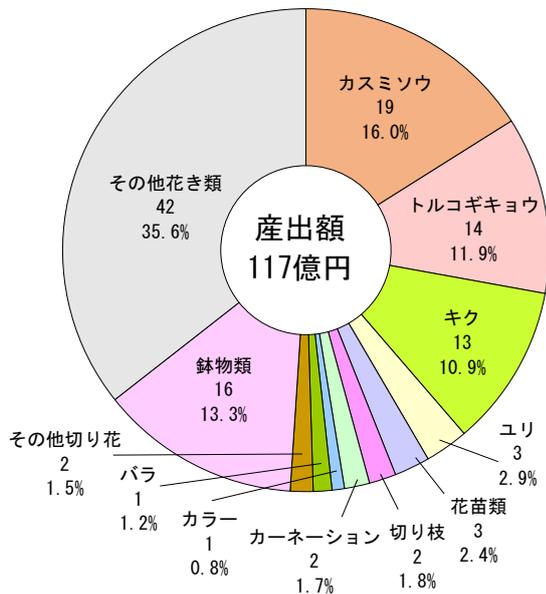
### 【果実の生産状況（R5）】



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)

### 【花きの生産状況（R5）】



(資料) 産出額合計: 農林水産省「生産農業所得統計」

品目別産出額: 県農林水産部「花き生産実績」

(注) 数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)



## (2) 林業

### ① 林業産出額

- 令和5年(2023年)林業産出額は164億円で、前年(182億円)に比べて18億円減少し、全国第7位となっています。
- 内訳は、木材生産(スギ、ヒノキ、広葉樹、竹材)が144億円(構成比88%)、木材以外の栽培きこの類生産等(きのこ類、薪炭、林野副産物)が20億円(12%)となっています。

【林業産出額の推移】



(資料) 農林水産統計「令和5年 林業産出額」

【林業産出額順位 (R5)】

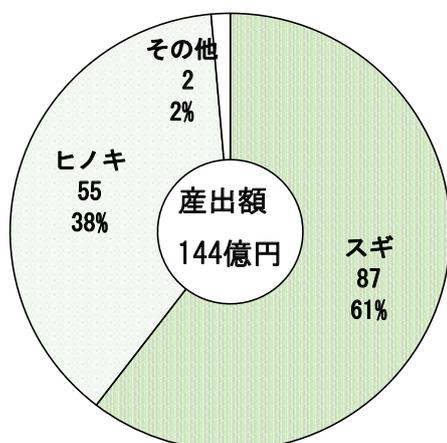
単位：億円

順位	都道府県	産出額	シェア
1	長野	609	12.8%
2	新潟	472	9.9%
3	北海道	434	9.1%
4	宮崎	295	6.2%
5	岩手	192	4.0%
6	大分	188	3.9%
7	熊本	164	3.5%
8	福岡	153	3.2%
9	秋田	146	3.1%
10	福島	134	2.8%
合計		4,751	

### ② 木材部門

- 令和5年(2023年)林業産出額の木材生産部門については、144億円で全国第4位です。
- 主な内訳は、スギが87億円(構成比60%、全国シェア7%)で全国第4位、ヒノキが55億円(構成比38%、全国シェア10%)で全国第1位となっています。

【木材の生産状況 (R5)】



【木材産出額順位表 (R5)】

単位：億円

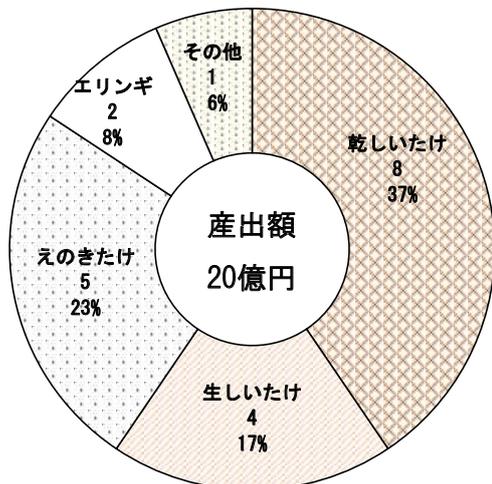
【全体】				【スギ】				【ヒノキ】			
順位	都道府県	産出額	シェア	順位	都道府県	産出額	シェア	順位	都道府県	産出額	シェア
1	北海道	350	14.1%	1	宮崎	219	16.7%	1	熊本	55	10.3%
2	宮崎	244	9.8%	2	大分	107	8.2%	2	高知	46	8.6%
3	岩手	149	6.0%	3	秋田	95	7.3%	3	岡山	43	8.1%
4	熊本	144	5.8%	4	熊本	87	6.6%	4	愛媛	41	7.6%
5	大分	136	5.5%	5	鹿児島	63	4.8%	5	栃木	29	5.4%
6	秋田	107	4.3%	6	岩手	63	4.8%	6	大分	26	4.9%
7	福島	94	3.8%	7	福島	58	4.4%	6	岐阜	26	4.9%
8	鹿児島	85	3.4%	8	青森	53	4.0%	8	静岡	26	4.9%
9	栃木	82	3.3%	9	宮城	52	4.0%	9	広島	23	4.3%
10	愛媛	78	3.1%	10	栃木	45	3.4%	10	宮崎	23	4.2%
合計		2,481		合計		1,314		合計		534	

(資料) 農林水産統計

### ③ 栽培きのご類等部門

- 令和5年（2023年）林業産出額のうち、栽培きのご類等については、20億円となっており、そのうち栽培きのご類は19億円で全国第24位となっています。
- 主な内訳は、乾しいたけが8億円（構成比37%）で全国第3位、生しいたけが4億円（17%）で全国第33位となっています。

#### 【栽培きのご類等の生産状況（R5）】



#### 【栽培きのご類の産出額順位表（R5）】

単位：億円

【全体】				【生しいたけ】				【乾しいたけ】			
順位	都道府県	産出額	シェア	順位	都道府県	産出額	シェア	順位	都道府県	産出額	シェア
1	長野	541	24.6%	1	徳島	68	12.1%	1	大分	27	36.8%
2	新潟	457	20.8%	2	長野	39	6.9%	2	宮崎	12	16.3%
3	福岡	129	5.9%	3	秋田	36	6.5%	3	熊本	8	10.3%
4	北海道	77	3.5%	4	岩手	34	6.0%	4	愛媛	4	5.5%
5	静岡	72	3.3%	5	群馬	29	5.2%	5	岩手	3	4.3%
6	徳島	69	3.1%	6	福島	28	5.0%	6	静岡	3	3.4%
7	三重	53	2.4%	7	栃木	27	4.8%	7	鹿児島	2	3.0%
8	大分	51	2.3%	8	北海道	24	4.3%	8	長崎	2	2.1%
9	宮崎	49	2.2%	9	長崎	22	3.9%	8	岐阜	2	2.1%
10	長崎	45	2.0%	10	千葉	20	3.6%	10	北海道	1	1.4%
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
24	熊本	19	0.9%	33	熊本	4	0.6%	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
合計	：	2,199	：	合計	：	562	：	合計	：	73	：

（資料）農林水産統計「林業産出額」

## 森林資源の循環利用に向けた取組み

### 再造林の推進と花粉の少ない苗木への転換

- 熊本県では、森林資源の充実等により主伐が進みつつあり、令和5年度は、約1,400haの主伐が行われました。一方、近年の再造林は、約1,000haで推移していることから、県等による各種支援により、再造林面積の増加を図っていきます。
- また、植栽する苗木については、社会的要請の高い「花粉の少ない品種」が約5割にとどまっていることから、更なる品種転換の促進を図っていきます。



再造林面積の上積みと苗木増産の目標

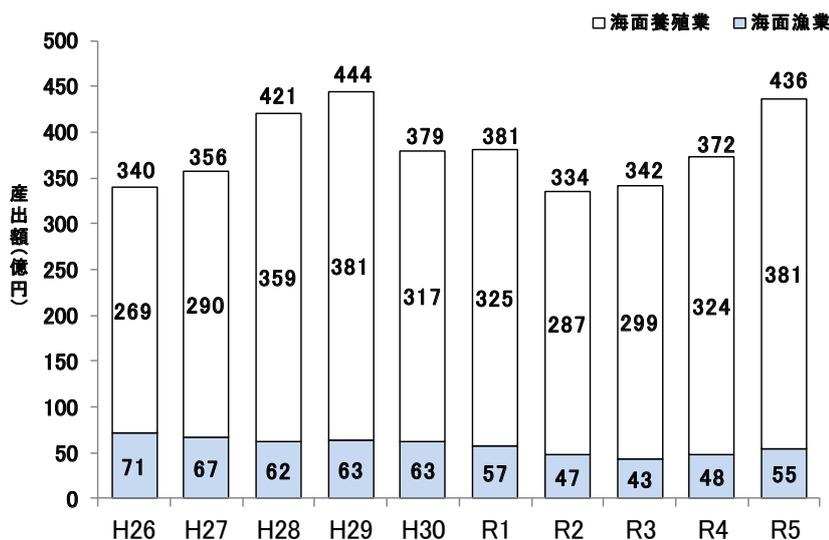


花粉の少ない品種への転換の促進

### (3) 水産業

- 令和5年（2023年）海面漁業及び海面養殖業の産出額は、436億円で前年の372億円に比べ64億円増加し、全国第11位となっています。
- その内訳として、海面漁業産出額は、55億円で前年の48億円に比べ7億円増加し、全国第33位となっています。
- 海面養殖業産出額は、381億円で、前年の324億円に比べ57億円増加し、全国第5位となっています。

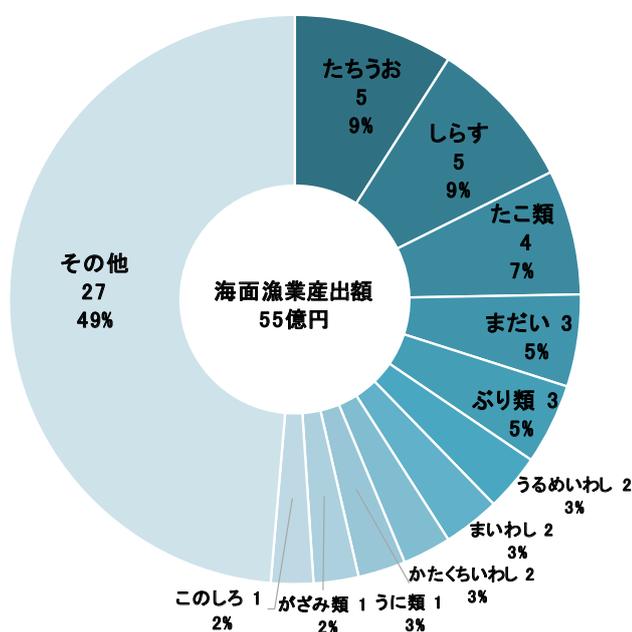
#### 【海面漁業及び海面養殖業の産出額の推移】



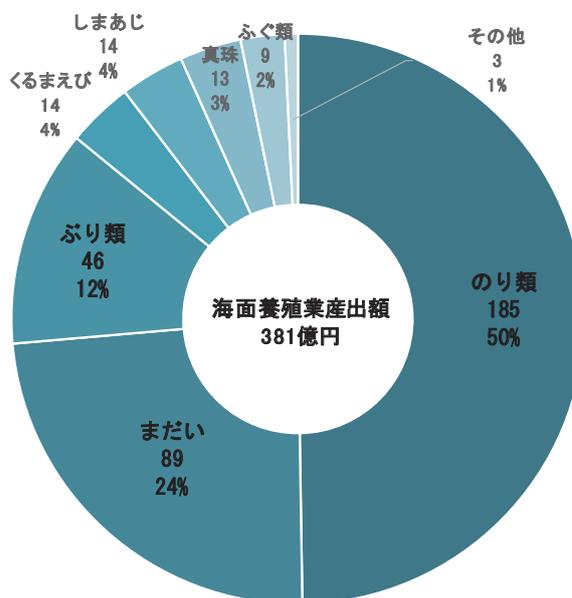
(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 魚種別にみると、海面漁業では、たちうお5億円(構成比9%)、しらす5億円(9%)、たこ類4億円(7%)、まだい3億円(5%)となっています。
- 海面養殖業では、のり類185億円(構成比50%)、まだい89億円(24%)、ぶり類46億円(12%)、くるまえばい14億円(4%)となっています。

#### 【海面漁業産出額の魚種別構成比 (R5)】



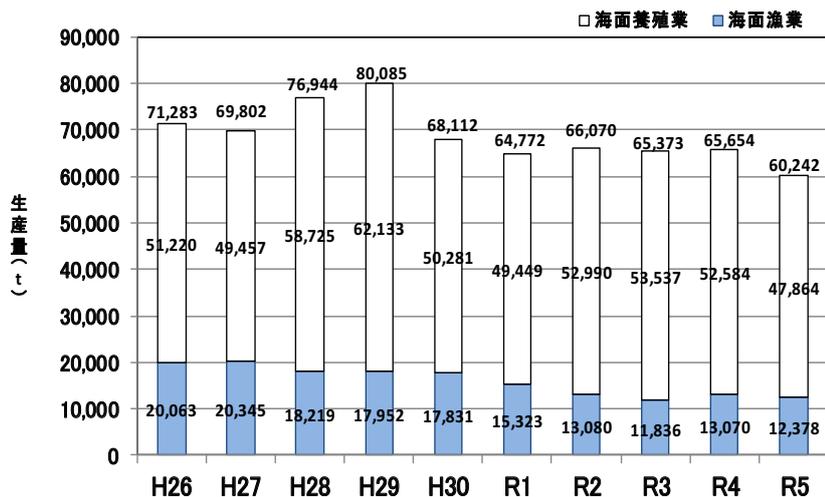
#### 【海面養殖業産出額の魚種別構成比 (R5)】



(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 令和5年（2023年）の海面漁業及び海面養殖業の生産量は60,242トンで、前年の65,654トンに比べ5,412トン減少し（前年比91.7%）、全国第18位となっています。
- その内訳として、海面漁業生産量は12,378トンで、前年の11,836トンに比べ692トン減少し、全国第32位となっています。
- 海面養殖業生産量は47,864トンで、前年の52,584トンに比べ4,720トン減少し、全国第5位となっています。

### 【海面漁業及び海面養殖業の生産量の推移】



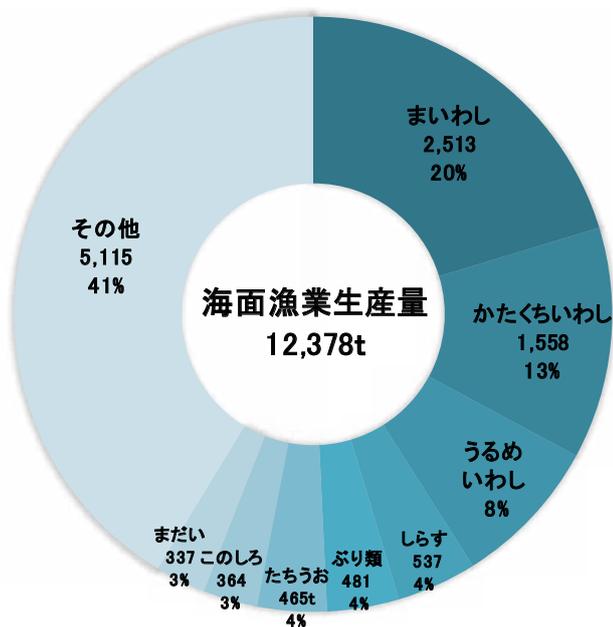
のり養殖



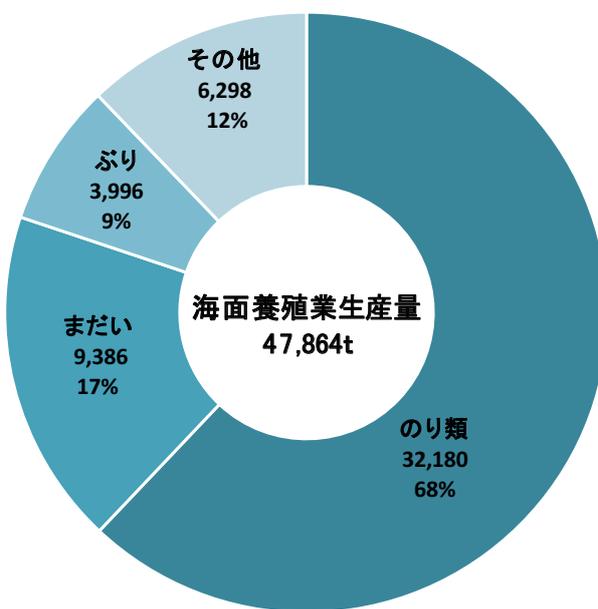
まだい

- 魚種別に見ると、海面漁業では、まいわしが2,513トン（構成比20%）、かたくちいわしが1,558トン（13%）、うるめいわしが1,008トン（8%）の順となっています。
- 海面養殖業では、のり類が32,180トン（構成比68%）、まだいが9,386トン（17%）、ぶりが3,996トン（9%）の順となっています。

### 【海面漁業生産量の魚種別構成比（R5）】



### 【海面養殖業生産量の魚種別構成比（R5）】



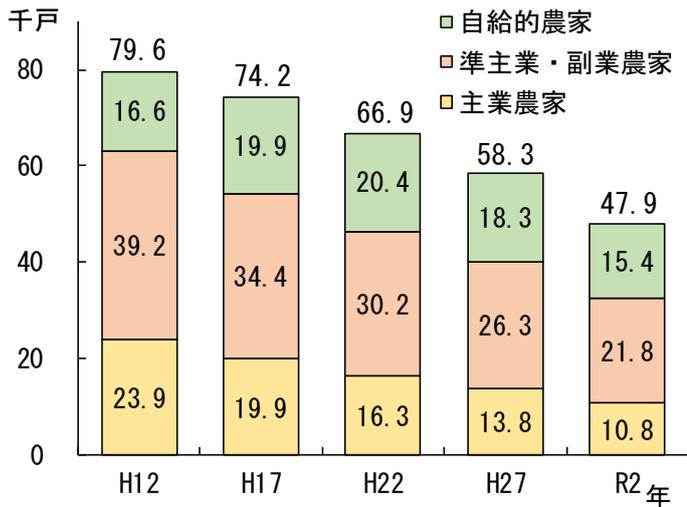
（資料）農林水産省 「農林水産統計年報」

## 4 担い手

### (1) 農業

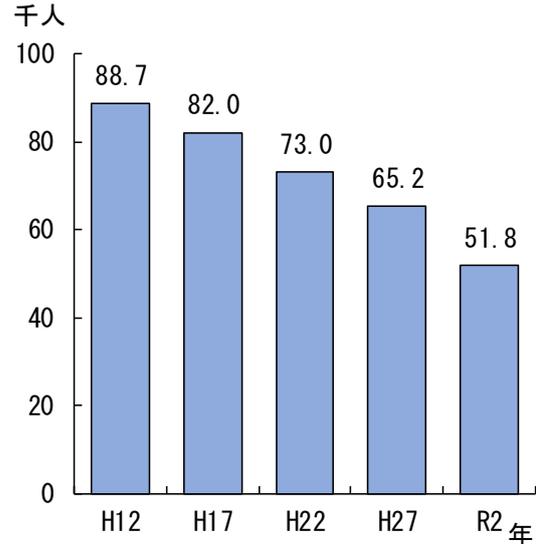
- 総農家数が全国的に減少しているなか、熊本県においても、令和2年（2020年）は平成27年（2015年）より10,535戸減少し、47,879戸となりました。
- 基幹的農業従事者（ふだん仕事として主に自営農業に従事している者）数は、後継者の減少や高齢化の進展によって減少傾向にあり、令和2年（2020年）には51,827人となっています。

#### 【主副業別農家数の推移】



（資料）農林水産省「農林業センサス」  
「農業構造動態調査」

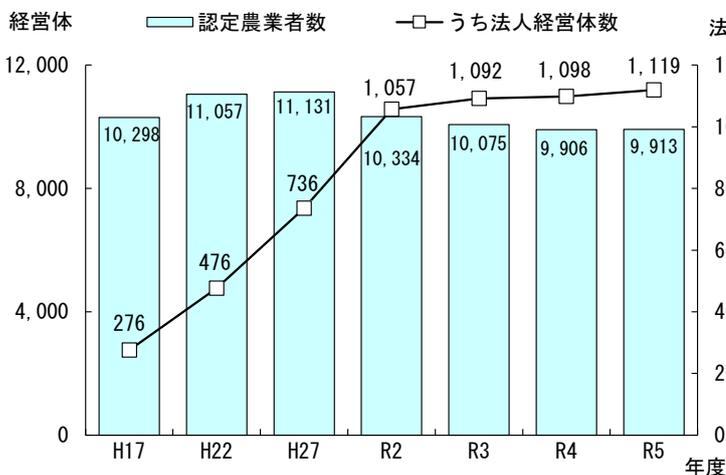
#### 【基幹的農業従事者数の推移】



（資料）農林水産省「農林業センサス」  
「農業構造動態調査」

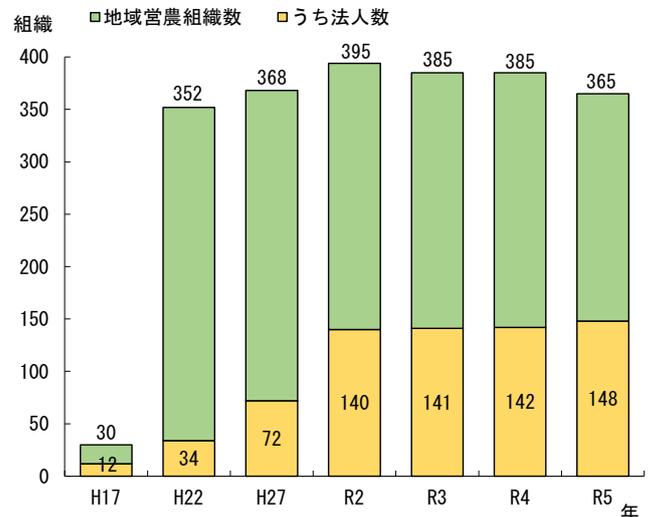
- 認定農業者数は、平成14年度（2012年度）に10,000経営体を超え、その後は横ばい状態が続いています。なお、令和5年度末（2023年度末）は9,913経営体で、全国3位の認定数となっています。
- 地域営農組織は365組織で、減少している一方、うち法人数は148法人で増加しています。

#### 【認定農業者数の推移】



（資料）農林水産省「認定農業者の認定状況」

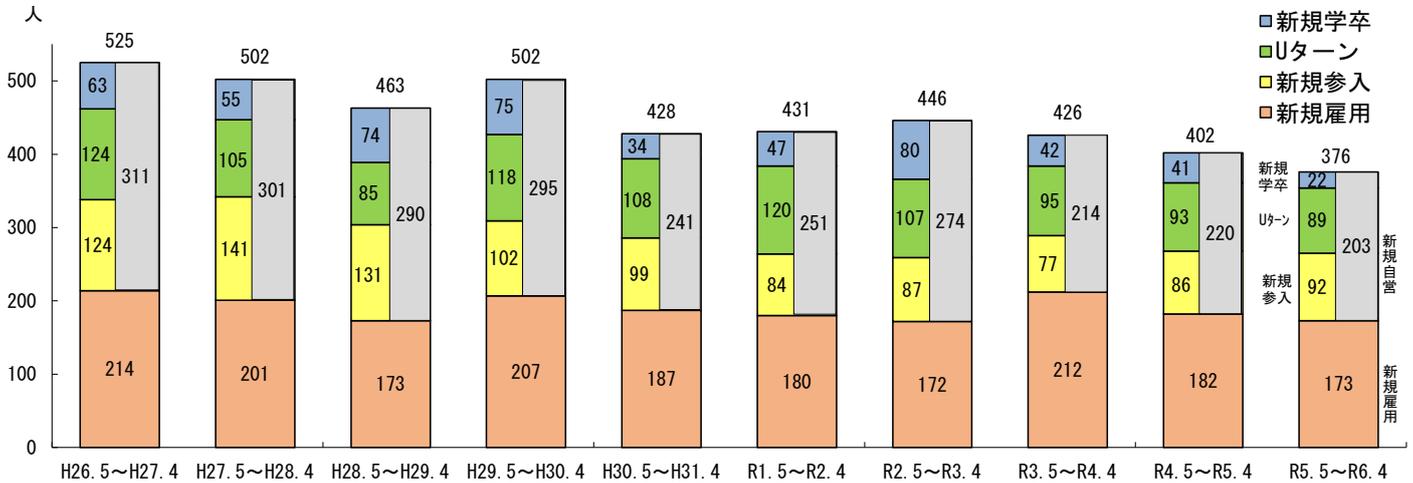
#### 【地域営農組織数の推移】



（資料）県農林水産部令和6年度末調べ

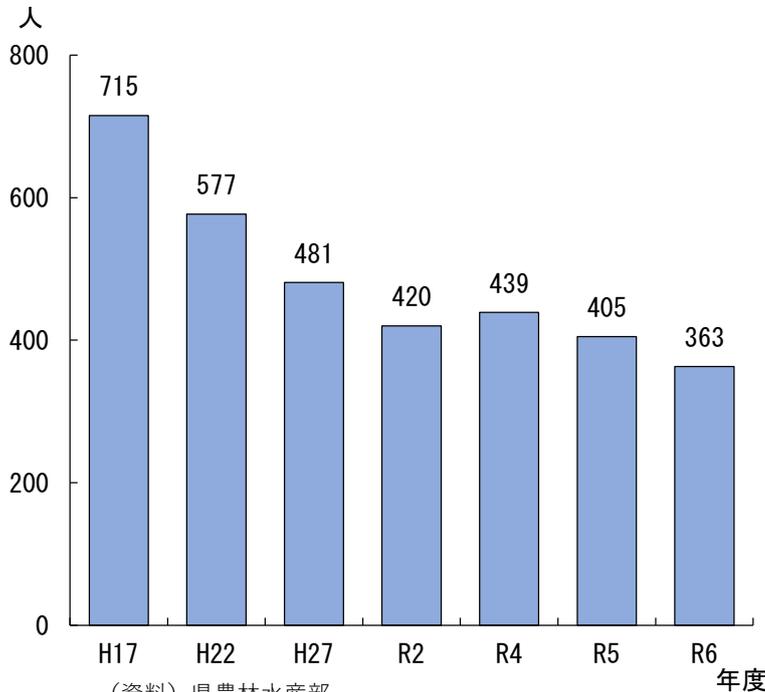
- 令和5年（2023年）5月から令和6年（2024年）4月までの新規就農者数は376人（前年比26人減）となりました。
- 令和6年度（2024年度）の青年農業者数は363人（前年比42人減）となりました。

### 【新規就農者数の推移】



（資料）県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

### 【青年農業者数の推移】



（資料）県農林水産部、  
県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」  
（注）青年農業者とは、16歳から25歳までの者で、  
年間150日以上農業に従事している者。

## 農畜産業の 担い手確保・育成策

熊本県では、「食のみやこ熊本県」の創造に向け、その要となる担い手の確保・育成に取り組んでいます。

令和6年度（2024年度）に実施した、若手農業者へのアンケート調査によると、親の経営を継承した親元就農者は、地域への愛着が強いこと、「農業が好き」で職業として選択したこと、頼れる仲間や先輩の存在が支えになっていることなどがわかりました。

これらを踏まえ、地域農業の重要な担い手となる親元就農者を中心に担い手の確保を促進するため、令和7年度（2025年度）は、親元就農者向け中期研修の新設や「おせっかい先輩農家」による相談体制の整備などを強化しています。

引き続き、親元就農をはじめとする農業の未来を支える担い手への支援や施策を強力に推進していきます。



先輩農家によるサポート

## (2) 林業

○認定事業体※における従事者数は、平成27年（2015年）の1,012人から令和5年（2023年）の867人と、約15%近く減少していますが、一方で39歳以下の若年層は、平成27年（2015年）の280人から令和5年（2023年）の329人と約18%増加しています。

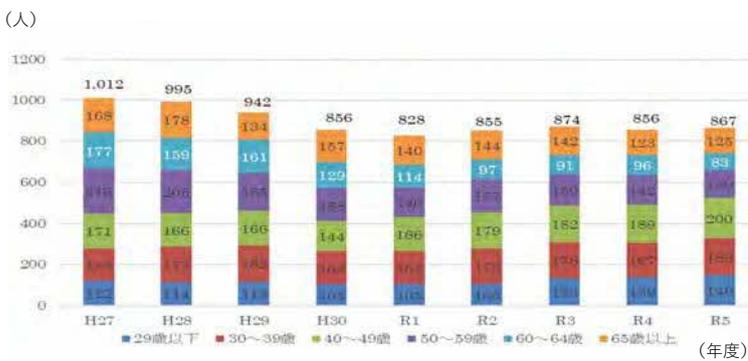
※「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき知事の認定を受けた事業体。

○令和5年度（2023年度）の新規就業者数は81人となっており、近年は70～80名で推移しています。

○くまもと林業大学校は、現場の即戦力となる人材を育成するため、令和元年度に開校し、令和6年度までの卒業生105人全員が県内の林業関係に就職しました。

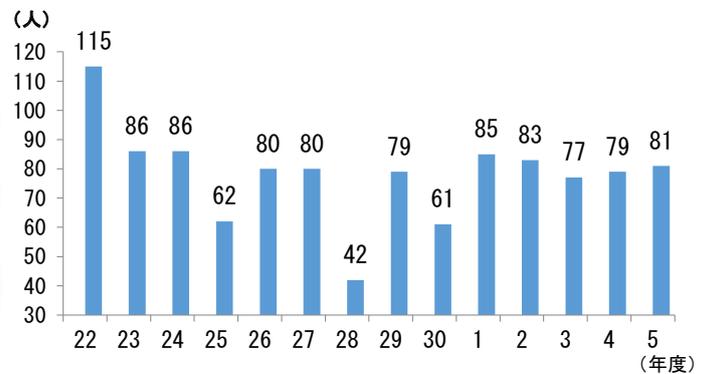
○地域林業の中核的担い手である森林組合は、森林の公益的機能の維持・増進を図るため、森林整備事業及び販売・加工事業等に取り組んでいます。

【林業従事者数と年齢構成】（認定事業体対象）



(資料) 県林業振興課調べ（認定事業体（※）を対象）

【新規就業者数の推移】（認定事業体対象）



(資料) 県林業振興課調べ

【熊本県の森林組合の状況（R5）】

項目	単位	本県	1県当たりの全国平均
組合数	組合	15	13
組合員数	人	35,115	30,962
1組合当たりの組合員数	人	2,341	2,417
組合員所有森林面積	ha	286,351	221,375
組合雇用労働者数	人	423	265
事業総利益	百万円	2,270	1,337
木材取扱材積	m <sup>3</sup>	444,199	181,534
新植面積	ha	837	388
保育面積	ha	4,788	3,092

(資料) 全国：農林水産統計  
本県：県団体支援課調べ

### くまもと林業大学校

くまもと林業大学校では、林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材の育成、そして意欲と能力のある林業経営者を養成することで、次世代をリードする林業担い手の確保・育成を図っています。



令和7年度林業大学校の入校式

### (3) 水産業

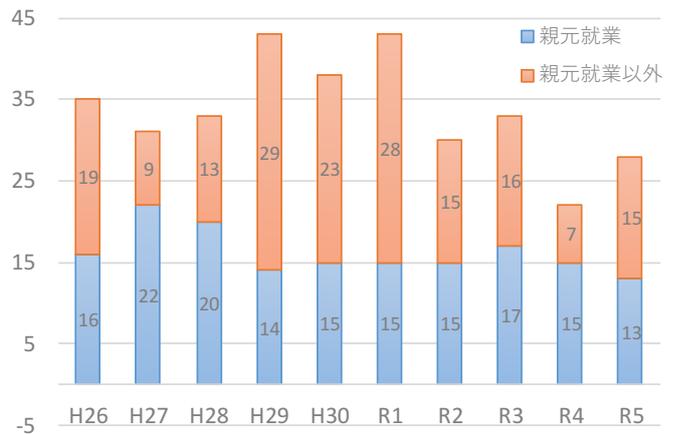
- 令和5年（2023年）の本県漁業就業者は、全国9位の4,118人で、平成5年（1993年）の29%にまで減少しています。
- 漁業就業者のうち、60歳以上の占める割合は58%と高齢化が進行しています。
- 漁業就業者に占める女性漁業者の割合は20%で、全国平均の10%と比べて高くなっています。
- 令和5年度（2023年度）の新規漁業就業者数は28名で、令和4年度（2022年度）の22名よりも増加しています。

【漁業就業者数の推移】



(資料) 農林水産省「漁業センサス」

【新規漁業就業者数の推移】



(資料) 県水産振興課調べ

## 漁業者の担い手育成

- 熊本県では、新たに漁業に就業する方が、円滑に就業・定着できるよう漁業体験・マッチング・就業定着支援・就業後の研修をワンストップで行っています。
- また、次世代の水産業を担う人材を確保するため、県内唯一の水産系学科がある天草拓心高校マリン校舎において、スマート水産業の特別事業を実施しています。
- 特別事業では、実際にICTなどの先端技術のスマート機器（魚体重測定カメラ、潮流計など）を用いて養殖や操業を行っている漁業者が講師となり、機器導入後の状況や効果などについて説明を行いました。
- 授業をきっかけとして、水産業にさらに興味を持ってもらえるよう、引き続き取組みを進めていきます。

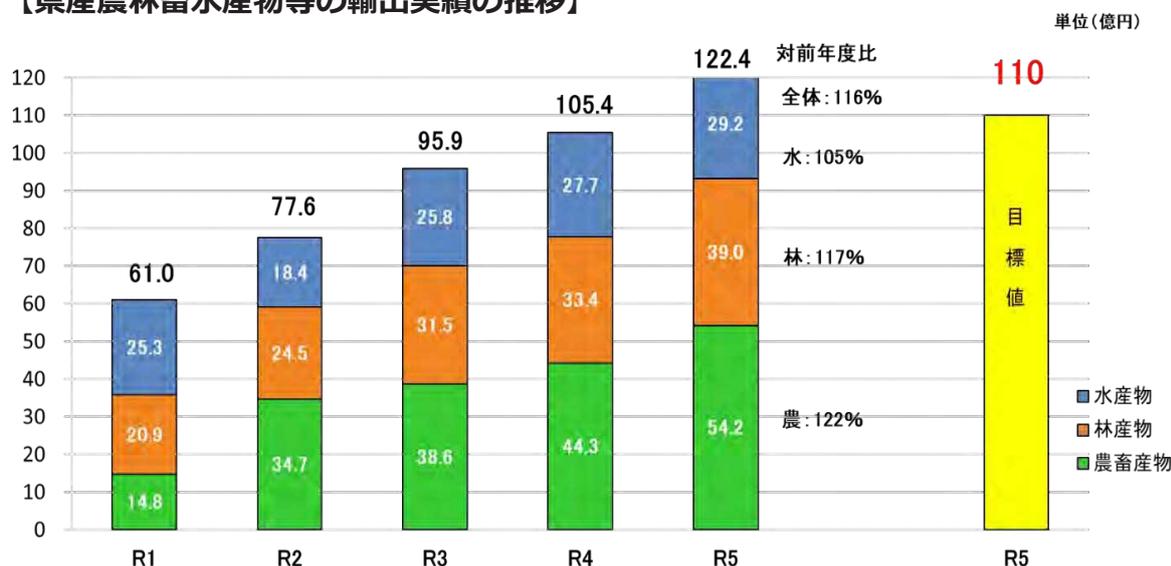


特別授業の様子

## 5 流通

○令和5年度（2023年度）の本県産農林畜水産物等の輸出額は、122.4億円（対前年度比116%）となり過去最高を更新しました。

### 【県産農林畜水産物等の輸出実績の推移】



(資料) 商工労働部、農林水産部調べ

#### <農畜産物>

アジアを中心とした日本産食品の人気、需要の高まりを背景に、牛肉やいちご、メロン等の輸出が増加し、過去最高を更新しました。

#### <林産物>

最大の貿易相手国である中国に対する丸太輸出が増加したこともあり、輸出量・輸出額ともに過去最高を更新しました。

#### <水産物>

北米、アジアなどに、ブリ、マダイ、シマアジ、カンパチなどの養殖魚を中心に輸出しています。ALPS処理水の海洋放出に伴う、中国による日本産水産物禁輸措置の影響により対中国向け輸出が減少した一方で、北米や台湾向けの輸出が増加したことで輸出額は過去最高を更新しました。

## 農林畜水産業の高付加価値化の取組みを進めています！

○県では稼げる農林畜水産業の実現に向け、生産物の高付加価値化の取組みを進めてきました。県の農業生産関連事業販売額(R5)\*は889億円で過去最高を更新し、全国3位となっています。これを令和9年度（2027年度）までに931億円まで増加させる目標を設定しているところです。

○この目標を達成するため、令和7年度（2025年度）から新たに、地域一体となり県産農林畜水産物の高付加価値化に取り組む組織(コンソーシアム)への支援を開始しました。農林畜水産業の更なる発展に向け取組みを進めていきます。

農業生産関連事業販売額の推移 (億円)

順位/年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1位	北海道 1,521	北海道 1,593	北海道 1,493	北海道 1,638	北海道 1,598
2位	静岡県 1,137	静岡県 1,002	静岡県 1,047	静岡県 991	静岡県 1,080
3位	福岡県 814	福岡県 824	熊本県 788	長野県 917	熊本県 889
4位	愛媛県 768	熊本県 790	福岡県 777	熊本県 861	千葉県 852
5位	熊本県 737	愛媛県 759	愛媛県 774	宮崎県 814	愛媛県 834

\*農産加工、農産物直売所、農家レストラン、観光農園、農家民宿の合計（農林水産省「6次産業化総合調査」）

# 6 農畜産物出荷カレンダー

種類	品名	主な生産地域	出荷最盛期 <span style="color: orange;">■</span> 出荷時期 <span style="color: yellow;">■</span>											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
野菜類	すいか	熊本・鹿本・上益城・菊池	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	メロン		[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	アールスメロン	鹿本・宇城・熊本・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	アンデスメロン	宇城・球磨・菊池・熊本	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	クインシーメロン	宇城・八代・熊本	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	肥後グリーンメロン	八代・宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	トマト	八代・玉名・宇城・熊本 阿蘇・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	いちご	玉名・八代・球磨・宇城・阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	なす	熊本・宇城・玉名 球磨・鹿本・玉名	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	れんこん	宇城・熊本・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	さといも	菊池・球磨・阿蘇・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ピーマン	上益城・阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ごぼう	菊池・阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	さやいんげん	天草・球磨・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	キャベツ	八代・熊本 阿蘇・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	にんじん	菊池・鹿本	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	だいこん	菊池 阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	レタス	天草・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	きゅうり	宇城・熊本 球磨・阿蘇・熊本・菊池・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ほうれんそう	阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
たまねぎ	熊本・芦北・天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
しょうが	宇城・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
かんしょ	菊池・上益城・阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
果実類	かんきつ類		[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	温州みかん	玉名・熊本・宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	不知火(デコボン)	宇城・芦北・天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	甘夏	芦北・宇城・天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ボンカン	天草・宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	清見	天草・宇城・芦北	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	河内晩柑(ジューシーオレンジ)	天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ネーブル	宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	大橘(パール柑)	宇城・天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	晩白柚	八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ハウスミカン	鹿本・玉名	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	なし		[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	幸水	球磨・八代・玉名・熊本	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	豊水	球磨・玉名・熊本・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	新高	玉名・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	くり		[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	筑波・銀寄・など	鹿本・球磨・上益城・菊池・玉名	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	ぶどう		[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
巨峰	宇城・鹿本・菊池	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
桃	球磨・玉名・熊本・鹿本・宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
かき	宇城・上益城・菊池・鹿本	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
びわ	天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
ブルーベリー	上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]												
花き類	キク	鹿本・上益城・熊本・球磨	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	宿根カスミソウ	菊池・天草・宇城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	トルコギキョウ	阿蘇・菊池・八代・熊本・球磨・天草	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	バラ	熊本・阿蘇・玉名	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	カーネーション	熊本・阿蘇・上益城	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	カラー	熊本・八代	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	スターチス類	天草・菊池・八代・阿蘇	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
特産	畳表(いぐさ)	八代・宇城・球磨	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
	茶	球磨・菊池・上益城・八代・鹿本・芦北	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											
畜産	牛乳・牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵	県下全域	[Peak: Apr-Jun, Ship: Apr-Dec]											

# 第3章 農業・林業・水産業に係る各基本計画の概要

## 熊本県食料・農業・農村基本計画～「食のみやこ熊本県」の創造に向けた稼げる農畜産業の実現～

### I 持続的で活力あふれる稼げる農畜産業の実現

#### 1 担い手の確保・育成と経営基盤強化

- ①担い手の確保・育成と経営継承の取組み拡大
- ②農業・農村を支える人材の確保・育成
- ③企業等の農業参入の促進
- ④担い手への農地の集積・集約
- ⑤農畜産業振興と半導体関連企業等の進出との両立に向けた営農継続支援
- ⑥農業団体の経営基盤・活動の強化

#### 2 農畜産物の生産性向上・競争力強化

- ①スマート農業・DXの実装加速化による生産性向上
- ②生産力の強化に向けた新品種・新技術の開発・普及
- ③魅力ある農畜産物の生産体制強化
- ④持続的な畜産経営に向けた生産基盤強化・収益性向上
- ⑤強固な生産基盤の整備と保安全管理

#### 3 農畜産物の高付加価値化・販売力強化

- ①県産農畜産物の販売力強化と生産・加工等工程の最適化
- ②6次産業化等の推進
- ③地産地消の推進
- ④農畜産物の輸出拡大

#### 4 環境に優しく変化に対応した生産体制の確立

- ①地下水と土を育む農業及びみどりの食料システムの推進
- ②農業・農村の国土強靱化の推進と災害対応
- ③自然災害・価格低迷等に対応したリスク軽減対策の推進
- ④家畜伝染病、病害虫の侵入リスクを最小化する防疫対策強化



### II 中山間地域等の農村活性化

#### 1 地域資源を活用した元気で豊かな農村の実現

- ①中山間地域の特徴を活かした「しごと」「くらし」づくり
- ②都市と農村との交流による地域活力の向上

#### 2 次世代へ引き継ぐ生産基盤の強化と農業・農村の多面的機能の維持・発揮

- ①中山間地域における農地基盤整備と集積による基盤強化
- ②多面的機能の維持・発揮
- ③鳥獣被害対策とジビエの利活用の推進

## 熊本県森林・林業・木材産業基本計画～持続可能な森林経営と新たな価値の創造を目指して～

#### 1 未来の林業を担う人材の確保・育成

- ①林業を支える“山の人材”づくり
- ②林業DXによる林業生産性及び安全性の向上

#### 2 森林資源の適正な管理及び利用

- ①森林の経営管理の推進
- ②適正な伐採と循環利用のための再生林の着実な実施
- ③森林病虫獣害対策等の推進
- ④森林吸収量の確保に向けた適正な森林整備
- ⑤森林の持つ多面的機能を支える研究・技術開発と林業普及活動の展開



#### 3 県産木材の利活用の最大化

- ①脱炭素社会の実現に向けた木材利用拡大の推進
- ②木材産業の競争力強化
- ③県民に対する木材利用の理解醸成

#### 4 県民の期待に応える多様で健全な森林づくり

- ①公益的機能の発揮に向けた適正な森林管理の推進
- ②安全・安心な森林づくりの推進
- ③県民や企業参加の森林づくりの推進

#### 5 新たな山村価値の創造による山村地域の維持・活性化

- ①森林空間の総合的な利用
- ②特用林産物の生産振興

## 熊本県水産基本計画～海洋環境の変化やリスクに強い「くまもとの水産業」の実現～

#### 1 海洋環境の変化に対応した持続的な漁業・養殖業の推進

- ①頻発化する赤潮への対応
- ②養殖成長産業化（スマート水産業技術の推進など）
- ③資源管理・栽培漁業の推進
- ④水面の総合利用と漁業秩序
- ⑤漁場環境の保全
- ⑥試験研究・普及活動の推進

#### 2 水産業を支える人づくり

- ①漁村を担う人づくり
- ②意欲ある漁業者の経営安定対策の強化
- ③漁業協同組合の持続的な体制整備

#### 3 稼げる水産業の推進と販売体制の整備

- ①県産水産物の販売力の強化
- ②地産地消と魚食普及の推進

#### 4 海業等の推進による漁村の活性化

- ①浜の活力再生プランの加速化と支援
- ②安全・安心な漁港整備や海業の推進による活力ある漁村づくり



## 【関連サイト※外部サイト】

### 流通アグリビジネス課

「くまもとのアグリ&フード」

<https://www.kumamoto-agribiz.jp>



「KUMA RICH」

くまもと地産地消公式SNS



LINE



Facebook



Instagram

### 農業技術課

「AGRIくまもと」

<https://agri-kumamoto.jp>



「くまもとグリーン農業」

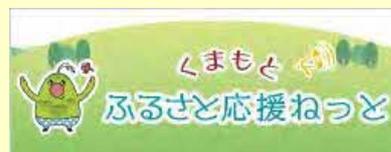
<https://kumamoto-green.com/>



### むらづくり課

「くまもとふるさと応援ネット」

<https://furusato.pref.kumamoto.jp>



### 林業振興課

「くまもと林業大学校」

<https://www.kumamoto-forestry.ac.jp>



### 水産振興課

「公式サイト」

FB: 熊本県水産振興課

IG: [suisanshinkou\\_kumamoto](#)



Facebook



Instagram

# 第4章 研究機関の取組み

## 1 各研究機関の概要

### 【農業研究センター】

- 熊本県農業研究センターは、農業技術開発の拠点として平成元年（1989年）4月に開所しました。センター内には主要作物等に対応した、7つの専門研究所と3つの地域研究所があります。
- 「持続的で活力あふれる稼げるくまもと農畜産業の実現」に向けて、熊本県農業試験研究推進構想に基づき、農業者が安心して農業に取り組めるよう、農業所得の最大化と併せて、環境にやさしい農業や地球温暖化にも対応した新品種・革新的な生産技術の開発に取り組み、技術革新の拠点・農業情報の発信基地としての役割を果たしています。



イチゴ「ゆうべに」の高設栽培における安定生産技術の確立  
(農産園芸研究所・高原農業研究所)



水田における温室効果ガス排出削減等技術の開発  
(農産園芸研究所・生産環境研究所)

農業研究センター  
ホームページ X (旧Twitter)



### 【林業研究・研修センター】

- 熊本県林業研究・研修センターでは、スギ等の育林に関する分野や、木材の加工・特用林産に関する分野における試験研究のほか、林業担い手の技術向上のための研修や森林・林業に関する情報発信に取り組んでおり、くまもと林業大学の県北校の拠点施設としても位置付けられています。
- 最近の研究では、花粉症対策の取組みとして、人工林伐採跡地に花粉の少ない苗木を植栽できるよう、少花粉や無花粉スギの品種開発等に関する試験研究を実施するとともに、大径化する丸太の新たな用途開発に向けた試験研究を重点的に取り組んでいます。



花粉の少ないスギの苗木の育成状況

林業研究・研修センターHP  
(熊本県HP内)



### 【水産研究センター】

- 熊本県水産研究センターでは、熊本県水産基本計画に基づき、水産資源の回復と魅力ある水産業の創出を目指して、試験研究等に取り組んでいます。
- 調査研究の実施にあたっては、国、関係県はもとより大学等の研究機関と積極的に連携して研究開発の高度化・効率化をはかるとともに、各広域本部水産課の水産普及指導員、市町、漁業者等と連携しながら研究成果や水産技術の活用・普及を行っています。



漁業調査船「ひのくに」

水産研究センターHP  
(熊本県HP内)



## 2 品種の開発・選定

※「 」は品種名

### 米

#### 「くまさんの輝き」



◆ツヤ・粘りがある極良食味品種。高温登熟性に優れ、倒伏しにくい。

◆R1年度 品種登録

#### はな にしき 「華 錦」



◆酒造好適米品種。倒れにくく、大粒で充実良好。吟醸酒～純米酒の製造に使用。

◆H28年度 品種登録

### 茶

#### 「熊本TC01」



◆新芽が大きく、濃い。「やぶきた」より収量・荒茶品質が優れる。

◆R5年度 品種登録

### 花き

#### 「熊本FC01」(ホワイトトーチ)



◆苞(花に見える部分)は純白で、茎は細く、品質が優れる湿地性カラー。疫病にも強く多収。

◆H24年度 品種登録

#### 「熊本FC03」



◆苞が大きく緑が濃く、商品性が優れるグリーン系の湿地性カラー。収量は「ホワイトトーチ」と同程度。

◆R6年度 品種登録

### いぐさ

#### すず かせ 「涼 風」



◆収量が多く、茎が中太で十分硬く、畳表の生産性が高い。枯死株が少ないのも特徴。早刈栽培向け。

◆H26年度 品種登録

### 野菜

#### 「熊本VS03」(ゆうべに)



◆収量性に優れ、特に年内収量が多い。糖酸のバランスが良く、大玉で着色も優れる。

◆H28年度 品種登録

#### 「ヒゴムラサキ2号」



◆「ヒゴムラサキ」の着色性を改善し、舌出し果の発生を軽減。

◆H29年度 品種登録

### 果樹

#### 「熊本EC12」



◆12月に成熟し、高品質で食味が良く、栽培しやすい早生カンキツ。

◆R1年度 品種登録

### 畜産

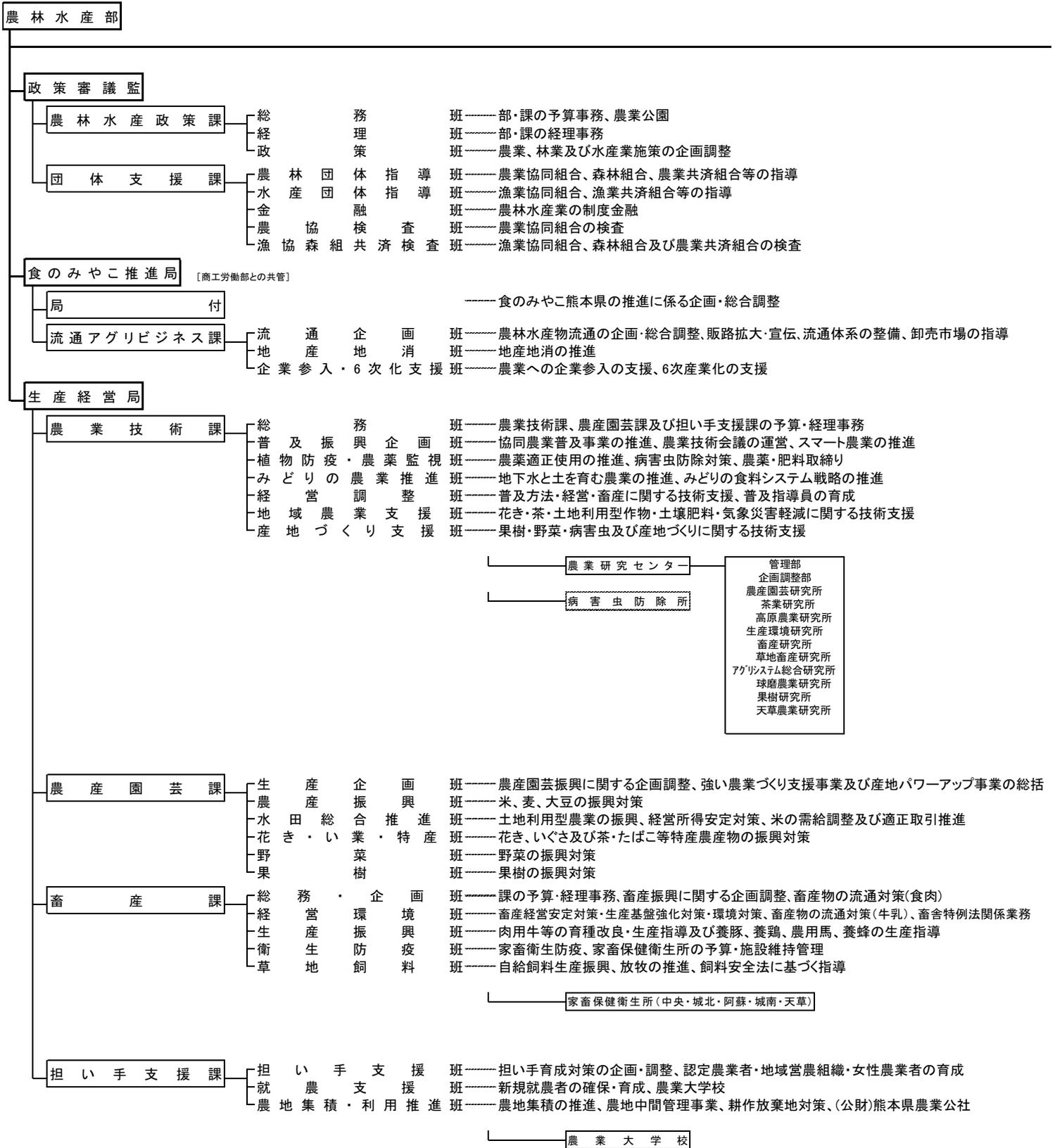
#### ゆきつるみつ 「幸弦光」

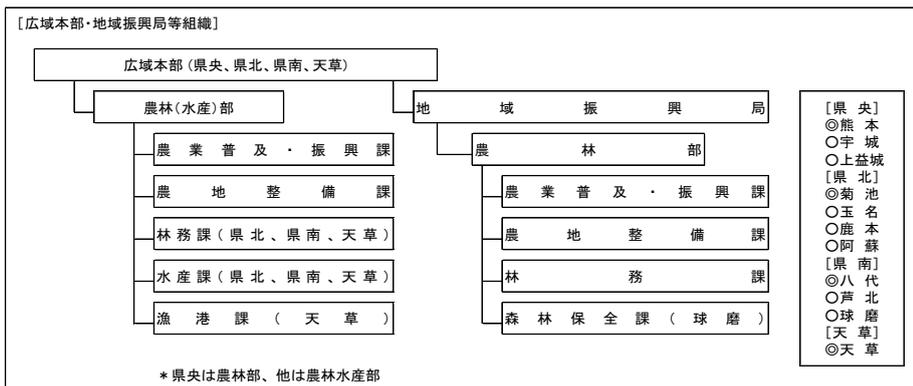
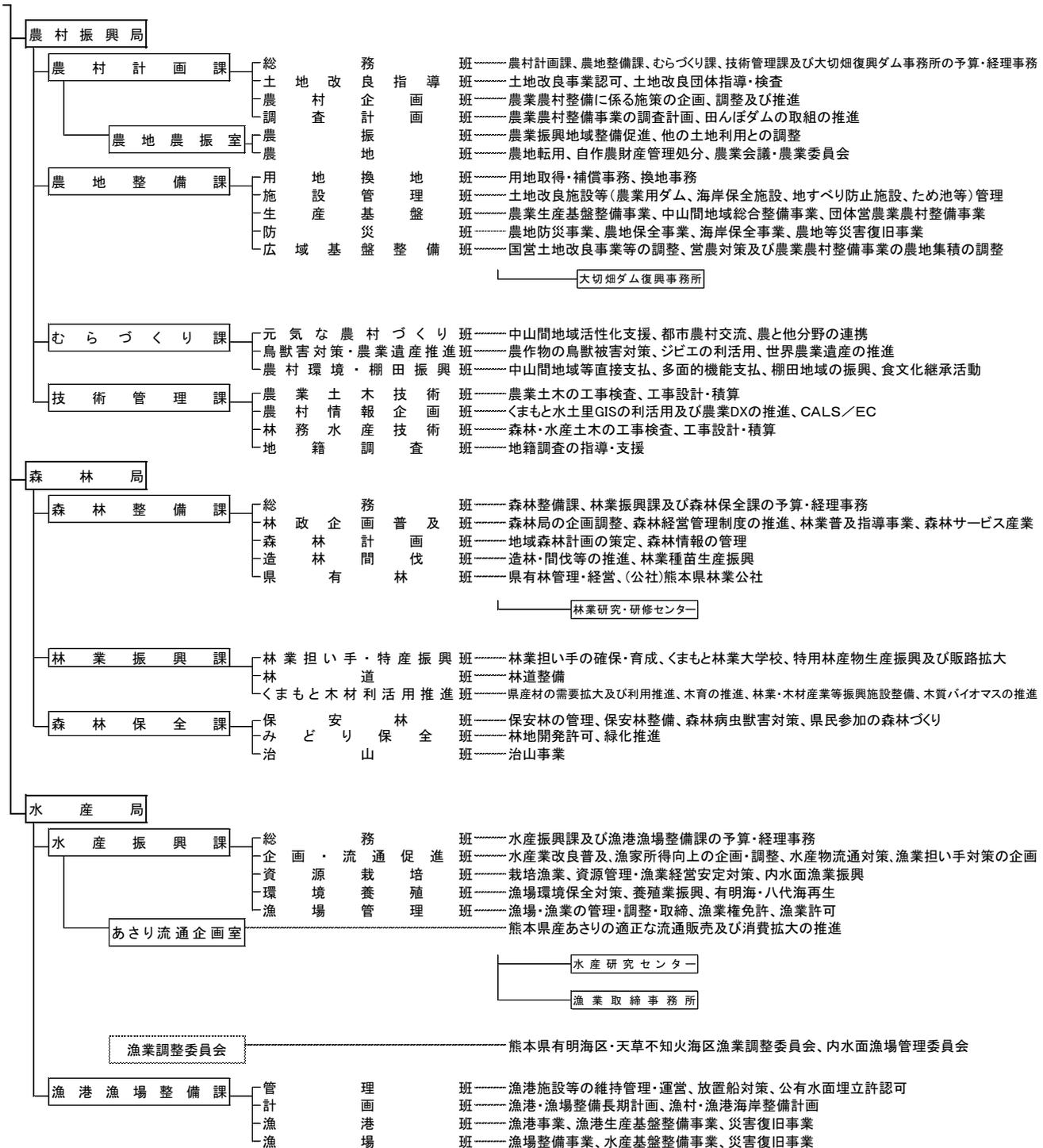


◆現場後代検定において、ばらの厚さが歴代トップクラスであり、肉量に期待できる褐毛和種雄牛。

◆R6年度 選抜

# 第5章 農林水産部組織図（令和7年4月1日現在）







発行者／熊本県

所属／農林水産政策課

発行年度／令和7年度(2025年度)